

令和2年度事業報告

法人運営

I 理事会の開催

| 開催期日 | 場 所 | 議 決 事 項 等 |
|-----------|-----|---|
| 2. 6. 4 | 長野市 | 理事会 ・令和元年度事業報告の承認について ・令和元年度収支決算の承認について ・内部統制に関する基本方針の決定について ・定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定について ・令和2年3月以降の職務執行状況について(報告事項) |
| 2. 6. 19 | 長野市 | 理事会(書面表決) ・理事長、専務理事の選定及び副理事長の選任について |
| 2. 7. 15 | 長野市 | 理事会(書面表決) ・令和2年度収支補正予算(案)の承認について |
| 2. 10. 29 | 長野市 | 理事会 ・(公財)長野県中小企業振興センターとの合併に係る基本的事項について ・理事の利益相反取引の承認について ・令和2年6月以降の職務執行状況について(報告事項) |
| 2. 11. 20 | 長野市 | 理事会(書面表決) ・令和2年度収支補正予算(案)について |
| 2. 12. 22 | 長野市 | 理事会(書面表決) ・令和2年度収支補正予算(案)について |
| 3. 2. 16 | 長野市 | 理事会(書面表決) ・評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定について |
| 3. 3. 17 | 長野市 | 理事会 ・令和3年度事業計画(案)について ・令和3年度収支予算(案)について ・令和3年度資金調達及び設備投資の見込み(案)について ・(公財)長野県中小企業振興センターとの合併契約の締結について ・令和2年度10月以降の職務遂行状況について(報告事項) |

II 評議員会の開催

| 開催期日 | 場 所 | 議 決 事 項 等 |
|----------|-----|--|
| 2. 6. 19 | 長野市 | 定時評議員会 ・令和元年度事業報告について(報告事項) ・令和元年度の貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録の承認について ・評議員の選任について ・理事及び監事の選任について |
| 3. 3. 1 | 長野市 | 評議員会(書面表決) ・「公益財団法人長野県テクノ財団役員の報酬並びに費用に関する規則」の一部改正について |

III 公益財団法人長野県中小企業振興センターとの合併について

長野県の「産業支援体制の在り方検討会」の結果を踏まえ、当財団及び公益財団法人長野県中小企業振興センター(以下、「振興センター」という。)では、長野県産業労働部とともに、

産業の総合支援拠点化の具現化に向けた検討を進め、合併に係る基本的事項の合意に至ったことから、各々の機関決定を経て、令和3年3月23日、合併契約書に調印した。

1 合併契約調印までの経過

| 年月日 | 会議等 | 内 容 |
|-----------|----------------------------|---|
| 1. 6. 11 | 産業支援体制の在り方 検討会（長野県主催） | 長野県において産業支援隊体制の在り方に関する検討が始まる |
| 2. 2. 12 | 産業支援体制の在り方 検討会報告書 | 長野県から産業支援機関の在り方検討会の報告「長野県の産業支援体制の在り方について」が、関係団体・機関に通知される。 |
| 2. 3. 17 | 理事会 | 長野県の産業支援機関の在り方検討会について報告（合併検討する旨） |
| 2. 6. 4 | 理事会 | 長野県の産業支援機関の在り方検討会の検討結果を踏まえ、県がたたき台として作成した組織イメージ等を説明 |
| 2. 6. 19 | 定時評議員会 | R2.6.4 理事会で説明した県がたたき台の内容を報告（合併検討する旨） |
| 2. 10. 29 | 理事会（臨時） | 合併に係る基本事項に沿って合併協議を進めることを承認 |
| 2. 11. 9 | 伊那テクノバレー 地域センター地域協議会 | 合併に係る基本事項の説明と意見交換 |
| 2. 11. 12 | 諏訪テクノレイクサイド 地域センター地域協議会 | 合併に係る基本事項の説明と意見交換 |
| 2. 11. 16 | 浅間テクノポリス 地域センター地域協議会 | 合併に係る基本事項の説明と意見交換 |
| 2. 11. 25 | アルプスハイランド 地域センター地域協議会 | 合併に係る基本事項の説明と意見交換 |
| 2. 12. 1 | 善光寺バレー 地域センター地域協議会 | 合併に係る基本事項の説明と意見交換 |
| 3. 3 上旬 | 評議員に対する個別説明 | 専務理事から合併契約案を理事会に提案する旨を説明 |
| 3. 3. 17 | 理事会 | 合併契約を締結することを承認 |
| 3. 3. 23 | 合併契約調印式及び記者 会見（長野県庁） | 長野県知事立会いの下に両財団理事長により合併契約に調印 |

2 合併に係る基本的事項

(1) 合併により目指す姿

産業界や他の産業支援機関等との適正かつ効果的な連携のもとに、本県産業の生産性の向上と持続的な発展を図り、長野県の経済振興と地域活性化への一層の寄与を目指す。

(2) 合併方式

当財団を吸収合併存続法人とし、振興センターを吸収合併消滅法人とする。

(3) 合併の効力発生日

令和4年4月1日

本 部 事 業

I 産学官交流事業

1 産学官金連携支援事業

長野県の経済発展を目指して国から選定された拠点計画と地域戦略の円滑な推進を確保するため、関係機関相互の情報共有及び連携強化を図った。

また、長野県ものづくり産業振興戦略プラン及びイノベーション推進事業の円滑な推進を図るため、イノベーション推進会議を開催した。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|------------------------------------|-----|---|-----|
| 2. 4. 21 ～ 3. 3. 11 (12回) | 長野市 | ・各セクションにおける事業の進捗状況と課題について ・予算の執行状況について ・コーディネート活動状況報告について ・令和3年度事業、予算編成について ・テクノ財団事務局会議、理事会、評議員会等について ・テクノ財団と中小企業振興センターの統合に係わる動向について | 161 |

2 コーディネータ資質向上事業

財団内外のコーディネート活動に携わる職員が、次年度の研究開発支援制度に関する情報収集を行い、県内企業がサポイン等の支援制度を効果的に活用して技術高度化に取り組むことを円滑に支援できるようにするための財団内コーディネータ研修を実施した。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|-----------------|-----------|---|-----|
| 2. 6. 15 | 長野市 | 「令和元年度 JST 派遣研修会参加報告」 (技術移転に係わる目利き人材育成プログラム) 信州医療機器事業化開発センター コーディネートマネージャー 平田 真理 | 31 |
| 2. 7. 28 | 長野市 | 「コーディネータという仕事 ーうまく行く産学官連携を目指してー」 前 テクノ財団技術戦略ディレクター 若林 信一 | 36 |
| 2. 12. 18 | 長野市 | 工業技術総合センター機器見学会 | 10 |
| 2. 9月～ 3. 2月 | メール 配信 | 「コーディネータ Information」 | 34 |

3 「信州 I Tバレー構想」推進事業

「信州 I Tバレー構想」の実現に向け、構想の推進体制となっている「信州 I Tバレー構想推進協議会 (N I T)」の運営、プロジェクトの支援及び構想に係るイベントを実施した。【協議会構成員 50 機関 (R3. 3. 31 時点)】

また、信州 I Tバレー構想の周知、取組内容の P R 等を国内外の I T 人材・企業や I T を活用したビジネス創出を目指すユーザ企業等に対して効果的に行うため、信州 I Tバレー推進協議会 W E B サイトにより情報発信を行った。

(1) 信州 I Tバレープランシェアカフェ (協議型)

構成員が自ら企画している具体的な事業計画を発表・提案し、様々な視点からアイデアをもらい、より効果的な取組に磨き上げる場を設けた。(オンライン開催 計 3 回)

| 実施日 | 内 容 | 参加者 |
|----------|---|-----|
| 2. 7. 30 | <ul style="list-style-type: none"> ・ Nagano Fledge の概要について ・ Nagano Fledge における企業出展について ・ NITWEB サイトへの掲載について | 26 |
| 2. 9. 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生参画型 IT 開発プロジェクト支援実証事業の内容について | 13 |
| 2.10. 8 | <ul style="list-style-type: none"> ・ Nagano Fledge の開催について | 18 |

(2) 学生参画型 IT 開発プロジェクト支援事業 (IT 人材の育成支援)

IT に関心のある県内大学生等を IT 開発プロジェクトのサポートとして採用して取り組む事業に対し、県内大学生等の人件費の全部又は一部を補助する事業を行った。

(応募 3 件、採択 3 件)

(3) IT 開発プロジェクト支援事業 (IT 関連プロジェクトの創生支援)

長野県下の地域課題を IT 活用により解決することを目指し、IT 事業者が IT ツールや IT 技術等を組み合わせ、ユーザ企業等、信州 IT バレー推進協議会 (NIT) 構成員及び (公財) 長野県テクノ財団と連携したプロジェクトの取組に対して、NIT が費用の一部を負担した。(応募 4 件、採択 4 件)

(4) Web セミナーの実施

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、在宅勤務やテレワークなどの新たな働き方のニーズが高まっている中、企業の業務効率化、生産性向上を図るため、オンラインセミナーを実施した。

| 実施日 | 内 容 | 参加者 |
|----------|--|-----|
| 2. 7. 29 | IT 導入促進 WEB セミナー 「何が使える？どのように進める？中小企業の IT 導入促進 WEB セミナー」 ※テレワークのメリットと課題、活用できる補助金等テレワーク導入時のポイントを学ぶ。 長野県よろず支援拠点コーディネーター 岡本 洋平 氏 | 11 |
| 3. 2. 26 | NITWEB セミナー 「SDGs 貢献に向けて～ソフトバンクの取組を紹介～」 ※SDGs とは何かを学び (知り)、どのように取り組めばよいかを考える。 ソフトバンク株式会社 CSR 本部地域 CSR2 部参与 千野 敬子 氏 | 47 |

(5) Nagano Fledge の開催

県内の様々な機関で実施するコンテストや実証事業の成果発表等を特定期間に集中的に実施し、同時に企業の事業を紹介する展示ブースを設けることで各イベントの集客力及び発信力を向上させ、「若者をはじめ多様な IT 人材の育成・誘致・定着」や「共創による革新的な IT ビジネスの創出・誘発」を促進する「Nagano Fledge」を開催した。

開催場所: 信州大学国際科学イノベーションセンター (長野市若里 長野 (工学) キャンパス内)

| 実施日 | 内 容 | 参加者 |
|-------------------------|---|----------------------------|
| 2.11. 3 ～ 2.11. 7 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 信州未来アプリコンテスト ・ オープニングイベント ・ トレンドセミナー (NISA) ・ ワークション EXPO@信州 ・ パネルディスカッション (NICOLLAP) ・ 企業紹介・実証事業及び大学等の研究成果発表 ・ 信州ベンチャーコンテスト 2020 | 392/1229 (会場/ オンライン) |

【展示会実施概要】

| 実施日 | 出 展 者 | 来場者 |
|-------------------------|--|-------------------|
| 2.11. 4 ～ 2.11. 6 | <ul style="list-style-type: none"> ・(株)ドコモCS ・東日本電信電話(株) ・キッセイコムテック(株) ・TOSYSグループ ((株)TOSYS・(株)アルスター) ・信州大学工学部 (不破研究室) ・使えるねっと(株) ・(株)ライフシード ・(一社)長野県ディープラーニング協会 ・(株)イーエムアイ・ラボ ・(株)NTTデータ信越/(株)NTTデータNJK | 25* (展示のみの見学者) |

上記の他、下記の併催イベントも実施した。

10/17 (土) 全国都道府県対抗 e スポーツ選手権 2020 KAGOSHIMA

「eFootball ウイニングイレブン」部門 長野県代表決定戦 (長野県 e スポーツ連合)

11/18 (水) 働き方改革セミナー (総務省信越総合通信局)

II 新産業創出支援事業

今後成長が期待される新産業分野(「健康・医療」、「環境・エネルギー」、「次世代交通」)への県内企業の積極的な参入を促進するため、当該分野における産業イノベーションにつながりうる研究開発プロジェクトへの重点的な支援や関連産業・技術の動向調査、市場ニーズと技術シーズのマッチング、各種研究会の開催等の事業を実施した。

1 健康医療分野への展開事業

(1) 信州医療機器事業化開発センター事業

<支援体制>

| | |
|--------------|--|
| 本部 | <ul style="list-style-type: none"> ・名誉センター長 (非常勤) 池野 文昭 (スタンフォード大学) ・センター長 (財団事務局長兼務) ・次長 (県派遣職員) ・コーディネータ【東北信担当】中田 勇一 (電機メーカーから出向) ・コーディネータ【中南信担当】平田 真理 (元医療機器メーカー) |
| 信州大学 オフィス | <ul style="list-style-type: none"> ・信州大学オフィス長 杉原伸宏氏 (学術研究・産学官連携推進機構学術研究支援本部長兼務) ・コーディネータ【医工連携】木下 幸彦 (元医薬品メーカー) ・コーディネータ【資金獲得・VB支援】角田 哲啓 (ファンディングエージェンシーOB) ・アドバイザー (非常勤)【薬事戦略】池田 浩治 (東北大学、元(独)医薬品医療機器総合機構 (PMDA)) ・アドバイザー (非常勤)【薬事戦略】鈴木 由香 (東北大学、元(独)医薬品医療機器総合機構 (PMDA)) ・アドバイザー (非常勤)【保険収載戦略】田中 俊博 (医薬品・医療機器・体外診断薬コンサルタント、元厚生労働省) |

<国内におけるネットワークの構築>

| | |
|----------------------|--|
| 東北大学病院臨床 研究推進センター | <p>PMDAの医療機器審査官のOBをはじめとする薬事・知財等の専門家が揃い、研究のアイデア段階から非臨床試験、企業との連携や知財管理・技術移転、臨床試験、承認審査、実用化までのあらゆる段階での支援を通じた医療機器開発を促進する体制が整備されており、当該センターとのネットワークの構築に取り組み、講師等をセミナー等に派遣していただいた。</p> |
|----------------------|--|

| | |
|----------------------|---|
| 地方独立行政法人 長野県立病院機構 | 医療従事者や患者のニーズを県内ものづくり企業に提供することで、医療現場の課題解決に資する新たな医療機器等の開発・改良につなげることを目的に、当該機構とのネットワーク構築に取り組み、手術現場や病棟の看護現場等、通常では立ち入ることが難しい現場へ、コーディネーターによる視察ができるよう連携体制を構築した。 |
|----------------------|---|

(2) 共同研究開発交流支援事業

| 開催期日 | 場 所 | 技術交流開催企業 | 参加県内企業数 |
|---------|-------|--------------------|---------|
| 2. 5.25 | オンライン | 富士フイルムテクノプロダクツ株式会社 | 12社 |
| 2. 7.22 | オンライン | 富士フイルムテクノプロダクツ株式会社 | 12社 |
| 2. 9.24 | オンライン | 日本ライフライン株式会社 | 15社 |

(3) 医療機器等開発相談支援事業

<登録アドバイザー>

| No. | 氏名 | 勤務先 | 役職 | 専門 |
|-----|---------------------|----------------|-------------|--|
| 1 | 宮坂 強 | サムエルプランニング株式会社 | 代表取締役 | 医療機器の開発、マーケティング、事業開発など |
| 2 | 萩原 敏彦 | 合同会社医療機器安全研究所 | 所長 | 医用電気機器の安全、リスクマネジメント、電磁妨害、ユーザビリティ、アラームシステム、ソフトウェアなど |
| 3 | 高橋 靖裕 | テルモ株式会社 | 旧愛鷹工場技術部責任者 | 医療機器製造に関する生産設備の開発、設計。医療機器製造業許可取得に伴う外部移管業務。工場総体の生産活動の生産性向上。5S,TPM 活動の推進など |
| 4 | 山室 雅嗣 | 株式会社エスプリ | 代表取締役 | 事業開発・サービス開発、価値設計・世界観設計、プロジェクトマネジメント、イノベーションコンサルティング |
| 5 | 喜多村 真 (11/23 まで) | 株式会社パララックマ | 会長 | 新規事業プロデュース、シード期事業コンサルティング、ビジネス企画、資金調達 |
| 6 | 山越 淳 | 名古屋国際特許業務法人 | 弁理士／行政書士 | 医薬品医療機器等法に関する手続（承認、認証申請手続等）、及びQMS省令に基づく社内体制構築に対する助言など 特許、実用新案、意匠、商標などの知的財産権 |
| 7 | 池野 文昭 | スタンフォード大学 | 循環器科・医師 | 医療研究、起業家教育、医療機器分野のベンチャー投資、医療機器企業へのアドバイス |

相談実績 3件

(4) 医療機器事業化開発推進事業

医療・ヘルスケア産業分野への新規参入及び事業規模の拡大に積極的な企業をターゲットに、長野県における将来的な医療・ヘルスケア産業の振興に寄与すると認められる事業に対して対象事業に係る経費の全部又は一部を定額負担した。

審査委員会 令和2年7月27日(月)～8月5日(水) 書面開催

採択・決定件数 2件

(5) 薬事承認・資金獲得戦略支援事業

薬事戦略に係る相談件数 4件

保険収載に係る相談件数 3件

資金獲得戦略に係る支援企業数 4社

(6) 有用微生物応用事業

近年、発酵に係る微生物から新たな機能性が発見されたことで発酵食品としてばかりではなく、化粧品・食品・医療品分野等への応用も可能になってきた。

信州は伝統的な発酵食品の宝庫であることから豊かな地域資源を活用し、新たな産業を創出するために立ち上げた「バイオリソース研究会」の活動を推進した。

また、微生物利用の新たな展開を目指している「新しい日本酒造り研究会」は、乳酸菌 PP165 を使用した「地域ブランド日本酒造り」を目指した。

<バイオリソース研究会>

これまでの長崎大学との研究成果を基に、令和3年度農水省 基礎研究ステージ（チャレンジ型）に応募した。

<新しい日本酒造り研究会>

乳酸菌 PP165 を使用した日本酒の製造を丸世酒造店（株）に委託し、地域ブランド商品となる純米酒の製造を目指した。また、ものづくり補助金（令和元年度補正2次）の採択を支援した。

| 日時 | 場所 | 内容 | 参加者 |
|----------|-----|------------------------------|-----|
| 2. 6. 30 | — | 丸世酒造店（株）ものづくり補助金（2次）採択 | |
| 3. 2. 8 | 長野市 | 官能評価（PP165（乳酸菌）利用日本酒は高評価を得た） | 27 |

(7) 光触媒技術応用事業（東京理科大学連携強化事業）

日本一のキノコ生産県である当県において課題となっているキノコ廃培地について、当財団と連携協定を締結している東京理科大学の有する光触媒技術を用いた革新技术により、高付加価値製品である希少糖を生成できる可能性が見出されたことから、その研究開発の推進と県内での事業化に向けた取組の加速化を支援した。

(8) 発酵食品・機能性食品産業集積事業（長野県ものづくり産業振興プラン2018～2022年度）

醸造蔵に存在している多くの有用な微生物を地域移転資源として菌の科学的な解明を行い、これを活用した新商品開発等を活性化させることで発酵食品・機能性食品産業の集積形成を図ることを目的としたプロジェクトを推進し、機能性を生かした新商品の開発を目指した。

<地域遺伝資源活用新商品開発コンソーシアム定例会・新商品開発検討会－Web会議>

| 開催期日 | 場所 | 内容 | 参加者 |
|----------|-----------------------|---|-----|
| 2. 7. 21 | 信州大学 (SASTec) | 1 令和元年度の研究実績報告 2 令和2年度の実施計画 3 有用菌の商品化（活用、知的財産の権利化等）に係る方針・方法について 4 今後の予定について | 32 |
| 3. 2. 24 | 長野県 工業技術 総合センター | 1 チームの概要について 2 チームで支援する有用菌の選定について 3 有用菌別の商品化方針について 4 研究結果のプレスリリース案について 5 知財合意書案について | 27 |

2 環境・エネルギー分野への展開事業

(1) 環境負荷低減等に向けた革新的材料技術活用促進事業

環境負荷低減等に資する材料技術を活用した事業の創出を目指し、産学官連携体制によるコンソーシアムを構築。コンソーシアムにより専門家の助言のもと県内の有望な技術シーズを事業化するためのプロジェクトを選定し、事業化へ向けた支援を実施した。

ア 支援体制の構築

産学官が連携した持続的にイノベーションを創出するため、「長野県エコマテリアル技術活用協議会」を設置した。

| 設置日 | 場所 | 構 成 員 |
|----------|-----|--|
| 2. 9. 30 | 長野市 | <ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人長野県経営者協会 次長 梶田 能孝 ・国立大学法人信州大学 副学長兼理事 中村 宗一郎 ・長野県産業労働部 参事兼産業技術課長 西原 快英 ・公益財団法人長野県テクノ財団 専務理事 沖村 正博 |

イ 支援の実施

(ア) 製品開発プロジェクトの支援

協議会にて採択した製品開発プロジェクト3件に係る市場調査及び具体的支援を実施。戦略的基盤技術高度化支援事業への申請及び実証実験の資金支援を実施した。

(イ) ニーズピッチイベント

県内事業者の抱える技術課題を解決するため、技術課題を研究者へ向けプレゼンテーションを行うイベントを開催した。

| 開催期日 | 場 所 | 発 表 者 | 視聴者 |
|-----------------------|-------|--|--------|
| 3. 3. 11 ～3. 3. 19 | オンライン | <ul style="list-style-type: none"> (株) 栗林製作所 (株) 小松精機工作所 | 延べ 222 |

(2) S D (Smart Device) プロジェクト

県内企業が製造する製品へ組み込む専用の半導体チップ「マイチップ」を開発するため、信州大学の専門家との共同研究をコーディネートし、その開発・設計を支援した。

また、次世代の実装技術の動向を捉え、新たな半導体デバイスの開発に繋げるため、関係団体との共催により「よくわかる実装技術講座」を開催した。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|---------------------|----------------------------|---|----------------------|
| 2. 9. 4 2. 9. 11 | コネクテックジャパン(株) (新潟県 妙高市) | 世界初の極低温・低加重 MonsterPAC テクノロジーを基軸とし、令和元年度「ものづくり日本大賞 経済産業大臣賞」を受賞したコネクテックジャパン株式会社の見学会、意見交換 | 20 (コロナ禍により人数を制限) |

(3) 信州MEMS研究会

MEMS技術は普及期に到達したと考え、MEMS技術に関連する磁性体デバイスの開発や用途開発を行う県内企業の取組を支援するため、「磁気エレクトロニクス研究会」を開催した。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|---------|----------------------|--|----------------------|
| 3. 3. 4 | 長野市 (会場及びオンライン開催) | 磁気エレクトロニクス研究会 「高周波電力用磁心材料の開発」 信州大学工学部電気電子工学科 教授 佐藤 敏郎 氏 「磁束経路制御技術を用いた電気機器・磁気部品の低損失化」 信州大学工学部電子情報システム工学科 教授 水野 勉 氏 「高集積高速 DC-DC コンバータモジュール向け集積回路設計技術」 信州大学工学部電子情報システム工学科 准教授 宮地 幸祐 氏 | 49 (会場：23、web：26) |

(4) 次世代パワーエレクトロニクス事業化促進事業

これからの技術、ビジネスに大きな可能性のあるワイドバンドギャップ半導体を用いた次世代パワーデバイス・モジュールの県内産業への技術適用の拡大及び社会実装を促進するため、「次世代パワーエレクトロニクス研究会」を開催した。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|-----------|-----|---|-----|
| 2. 12. 18 | 長野市 | 「進化する宇宙機を支える半導体デバイス技術」 JAXA 研究開発部門第一研究ユニット研究領域 主幹 新藤 浩之 氏 「ミニマルファブの宇宙利用に関する研究」 JAXA 研究開発部門第一研究ユニット 主任研究開発員 森川 剛一 氏 「集積パワーマネジメント回路の動向と新材料デバイス への期待」 信州大学工学部電子情報システム工学科 准教授 宮地 幸祐 氏 | 51 |

3 次世代交通分野への展開事業

(1) 航空宇宙産業集積促進事業

航空宇宙産業分野への参入を目指す県内企業の支援ニーズに応じて、参入に必要な関連業界・技術情報の収集、参入に資する研究開発・成果の早期事業化などへの支援事業を実施した。

航空宇宙産業集積の取組みにおいて南信州・飯田地域が抱える技術的課題を、長野県工業技術総合センターや他地域の企業や信州大学等を巻き込んで、飯田地域と連携して解決することを通じて、航空宇宙産業集積を県内全域に波及させるべく、以下の取組を実施した。

<研究開発プロジェクトの企画運営支援>

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|-----------|-------|--|-----|
| 2. 7. 6 | 諏訪市 | 航空機システム研究会 加工トライアル 合同キックオフ 「新型コロナウイルス感染拡大・防止等から」航空機業界に未曾有の影響をおよぼす、現状と今後の見通しについて (株)航想研代表取締役、 (株)三菱総合研究所客員研究員 奥田 章順 氏 | (3) |
| 2. 7. 17 | オンライン | ウエストバージニア州日本代表事務所 Web 会議 ・ウエストバージニア州の航空機産業の現状 ・長野県の航空機産業振興施策の全体説明と情報交換 | 8 |
| 2. 10. 7 | 諏訪市 | 航空機システム研究会 操縦飛行システム分科会 「多摩川精機におけるモータ開発の取り組みと“駆動モータシステム開発”に向けて期待するもの」 多摩川精機 (株) 専務取締役 熊谷 秀夫 氏 「電動化の取り組みから、駆動モータシステム開発に求められるコア技術、ニーズ」 公立諏訪東京理科大学工学部 教授 雷 忠 氏 <技術紹介> ① ゴコー電工(株) 代表取締役 相場 はるか 氏 ② アスリートFA(株) 代表取締役会長 山崎 晃 氏 | (2) |
| 2. 10. 27 | 飯田市 | 第2回航空機システム環境評価試験シンポジウム(ASES2020) 「我が国の航空機産業の現状と今後の展望」 経済産業省製造産業局 航空機武器宇宙産業課 航空機部品・素材産業室長 宮越 朗 氏 「無人航空機に係る航空法の概要と環境整備に向けた取組」 国土交通省航空局安全部安全企画課課長補佐 山村 肇 氏 | (1) |
| 2. 11. 24 | 諏訪市 | 航空機システム研究会 客室・内装系統分科会 「安全・安心の取り組み」 (株)JALエンジニアリング 技術部 技術企画室 客室仕様・技術グループマネージャー 奥山 哲 氏 <技術紹介>新型コロナウイルス感染予防対策技術 ① (株)オーク製作所 管球カンパニー 諏訪工場 | (2) |

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|-----------|-------|---|-----|
| | | 基礎研究部部长 芹澤 和泉 氏 ② (株)ワークソリューション 代表取締役 荻原 真二 氏 | |
| 2. 12. 16 | オンライン | ウエストバージニア州日本代表事務所 Web 会議 ① ウェストバージニア州の航空機産業の現状 ② 長野県の航空機産業振興施策の全体説明と情報交換 | 8 |
| 2. 12. 21 | 諏訪市 | 航空機システム研究会 「モーフィング翼とスマートアクチュエータ」 中部大学工学部宇宙航空理工学科教授 航空宇宙学会モーフィン研究会会長 池田 忠繁 氏 「ハーモニックドライブのご紹介と電動アクチュエータの可能性」 (株)ハーモニック・ドライブ・システムズ 執行役員 CTO 兼ハーモニックドライブ研究所長 清澤 芳秀 氏 <分科会> 「一般的電動アクチュエータの現状と見通し」 炭田航空宇宙企画所長 炭田 潤一郎 氏 | (2) |
| 3. 1. 28 | オンライン | 長野県工業技術総合センター 無人機開発プロジェクト ・プロジェクト計画、共同推進機関の意見交換 | (1) |
| 3. 2. 25 | 諏訪市 | 航空機システム研究会 「航空機電動化の国内外動向と研究開発課題」 JAXA 航空技術部門次世代航空イノベーションハブ長 伊藤 健 氏 「次世代パワーデバイス活用によるパワーモジュールの開発検証」 長野日本無線 (株) 事業本部 ICT 事業部 電源技術部 部長 堀内 博文 氏 参事 湯本 速巨 氏 「航空機システム研究会 本年度活動状況について」 NPO 諏訪圏ものづくり推進機構 理事 宮崎 吉信 氏 | (2) |
| 3. 3. 18 | 岡谷市 | 航空機産業支援サテライト R2 年度活動報告会 「航空機部品製造技術強化事業部品製造技術に係わる課題解決支援」 長野県工業技術総合センター 精密・電子・航空技術部門 航空機産業支援サテライト 研究企画幹 軽部 俊幸 氏 同 航空機システム研究マネージャ 中田 行彦 氏 (株)オーク製作所 諏訪工場 照明電源計測部 副部長 高屋 謙治 氏 同 基礎研究部 部長 芹澤 和泉 氏 | (2) |

Ⅲ 共同研究等推進事業

1 研究開発費獲得支援事業

国や県等の研究開発制度の活用・普及を図るため、各種制度のプレゼンテーションを行った。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|----------|-----|--|-----|
| 3. 2. 25 | 松本市 | 研究開発等支援制度説明会 《研究開発等支援制度の説明》 「長野県の支援施策について」 長野県産業労働部産業技術課主任 鈴木 崇司 氏 「公益財団法人長野県中小企業振興センターの支援施策について」 (公財)長野県中小企業振興センター主任 中村 繁之 氏 「経済産業省の支援施策について」 ・ R2 年度 3 次補正予算・R3 年度予算案等 関東経済産業局地域経済部地域振興課係長 鈴木 崇史 氏 ・ 戦略的基 盤技術高度化支援事業 (サポイン事業) の概要 | 60 |

| | | | |
|--|--|--|--|
| | | 関東経済産業局産業部製造産業課課長補佐 小川 健彦 氏 ④ 「国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の支援施策について」 ・『研究成果を活用した新技術の開発を応援します！』 ～JSTの技術移転支援制度～ 産学連携展開部地域イノベーショングループマッチングプ ランナー（広域関東圏）産学連携フェロー 二階堂 知己 氏 ⑤ 「国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 （NEDO）の支援施策について」 （国研）新エネルギー・産業技術総合開発機構 イノベーション推進部 専門調査員 吉満 健一 氏 ≪個別相談会≫ | |
|--|--|--|--|

2 財団コーディネート活動支援事業

大学等の技術シーズを活用する新技術・新製品の事業化や提案公募に必要な基礎的データの取得のための産学官連携による研究開発を支援するため、該当案件の募集を行ったところ、3件の提案応募があり、3件の採択となった。

3 提案公募型等研究開発プロジェクト運営事業

採択された研究開発プロジェクトに対し、研究活動の推進、進捗管理を行った。

| 制度名 | テーマ名 [研究機関] | 所管省庁等 |
|--------------------|--|------------------|
| 戦略的基盤技術 高度化支援事業 | キノコ廃培地からの高純度希少糖生産法の研究開発 [信光工業、アクティブ、東京理科大学] | 経済産業省 関東経済産業局 |

(注) 研究活動の概要は、Ⅱの1(4)に掲載

IV 国際展開支援事業

1 国際連携ネットワーク強化事業

コロナ禍により、直接交流は難しいため、遠隔ミーティング環境を整備し、IPF Japan2020の開催に合わせ、出展企業とPool-net (Portuguese Tooling & Plastics Networking) 関係者とのコーディネートを実施した。

計画では、射出成形・金型技術開発をテーマとしたwebミーティングを予定したが、調整の結果、時差等によりwebミーティングは実施できず、バーチャル展示会による交流となった。

2 国際ビジネス調査・交流事業

コロナ禍により、直接交流は難しいため、遠隔ミーティング環境を整備し、長野県食品製造業振興ビジョンの重点プログラムに基づき、グローバルな規模での食のニーズ探索や加工・製造技術の調査、研究機関等との共同研究・開発を一助とするため、食を通じて健康長寿を目指す世界規模の動きや、連携に通ずる活動事例などの情報を提供するセミナーを開催した。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|---------|-----------|---|-----|
| 3. 2.19 | オンライ ン | 「オランダにおける研究開発のビジョン －食と健康のライフスタイルの事例」 「長野発の発酵のノウハウで世界に進出するには」 TNO（オランダ応用化学研究機構） ビジネスデベロップメントマネージャー 西出 香 氏 「オランダに倣うビジネスマインド －本当のダッチ・アカウントとは」 佳インターナショナル株式会社 マーケティングマネージャー 石川 亜紀 氏 | 27 |

3 国内外の航空機関連展示会出展事業

世界的な新型コロナウイルス感染症の影響による航空機需要急減により航空機産業を取り巻く事情環境は大きく変化している。航空機産業の一時的停滞は革新的技術分野への挑戦や数年先

の航空機需要後の成長のチャンスと捉え、関連する国際的な展示会・商談会へ出展し、県内企業の技術力と生産力を国内外へPRすることで、技術マッチングなどに資する企業支援を行った。

<展示会出展支援>

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|----------|-------|---|-----|
| 2. 8. 26 | オンライン | 中部経済産業局管内 航空機産業担当者 Web 会議 ・エンジンフォーラム神戸 2020 出展支援計画について | (3) |
| 3. 2. 18 | オンライン | 中部経済産業局管内 航空機産業担当者 Web 会議 ・エンジンフォーラム神戸 2020 出展支援計画について ・各県 R 2 年度 事業実施状況報告 ・各県 R 3 年度 事業計画 (案) | (2) |
| 3. 3. 8 | オンライン | 航空宇宙産業セミナー 報告：「北米航空機産業市場調査」 (公財)南信州・飯田産業センター マネージャー 松井智章氏 報告：「エンジンフォーラム神戸 2020 出展支援報告」 テクノ財団コーディネーターマネージャ 木下 和久 | 1 |
| 3. 3. 26 | オンライン | 中部経済産業局管内 航空機産業担当者 Web 会議 ・中部エアロスペース・サポート・アクション (案) | (2) |

<展示商談会参加>

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|------------------|-----|---|-----|
| 2. 10. 20 ～21 | 兵庫県 | エンジンフォーラム神戸2020 (会場 神戸国際展示場 3 号館) 航空機エンジンや産業用ガスタービンに特化した国際的なビジネス展示商談会 <出展支援企業> インフィニジャパン(株) (松本市) エアロスペース飯田 (飯田市) (株)諏訪機械製作所 (岡谷市) 多摩川精機(株) (飯田市) (株)都筑製作所 (坂城町) <成果> 商談件数 69 件 (うち、オンライン 9 件) | — |

V 人材育成事業

1 グローバル展開実践カレッジ

県内企業がグローバルな展開を推進する上で必要となる英語による発信力を強化するため、次の講座を開催した。

(1) E S P (English for Specific Purposes) 講座

講師：清泉女学院大学教授 グレゴリー・バーチ氏、教授 藪田 由己子氏

県立大学非常勤講師 ミゲル・ミッション氏

ゲストプレゼンター：関川 和成氏

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|-----------|-------|---|--------------------------|
| 2. 10. 30 | オンライン | ・英語による効果的なビジネスプレゼンテーションの作り方 ープレゼン概論、課題提示 ・ゲストプレゼンターによるプレゼンテーション | 延べ 96 |
| 2. 11. 27 | オンライン | ・ゲストプレゼンターによるデモ・プレゼンテーション 「英語による情報発信とAI技術の活用(2)」 ・英語による効果的なプレゼンテーションの伝え方 ー個別指導、フィードバック | 個別指 導 受講者 5社・6名 |
| 2. 12. 18 | オンライン | ・プレゼンテーション実演 ・講者とディスカッション、講評 | |

(2) ビジネス英語講座

講師：長野県立大学 准教授 カチョフ・シェロ・エリス 氏

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|----------|-------|--|-------|
| 2. 9. 10 | オンライン | ・「会話の始め方について (Starting a Conversation) 」 ・ミニ講義：文化の違いはコミュニケーションに影響を与える | 延べ 18 |
| 2. 10. 1 | オンライン | ・「 “会話が止まる問題” を解決する」 ・ミニ講義：文化によって異なる説得力(1) | |
| 2. 11. 5 | オンライン | ・「会話の終わらせ方について (Closing a Conversation) 」 ・ミニ講義：文化によって異なる説得力(2) | |

(3) ビジネス英語講座・実体験編 –先輩に学ぶ

講師：KTM グループ 代表取締役社長 清水 満晴 氏

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|----------|-------|---|-------|
| 3. 1. 18 | オンライン | ・準備編 –交渉に向けた構え、資料準備 etc ・ミーティング編 I | 延べ 17 |
| 3. 2. 15 | オンライン | ・ミーティング編 II ・側面支援編 –破綻につながる小さなズレ、母国語でないことのメリット etc | |

(4) 航空宇宙産業人材育成事業

専門の講師を招へいして航空宇宙産業に特化した品質マネジメントシステムに関する国際規格である JISQ9100 の取得に係る講習会を2回開催した。また、技術系人材育成に係る研修会を開催した。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|------------------|-----|--|------------|
| 2. 11. 11 ～12 | 岡谷市 | JISQ9100 内部監査員養成研修 講師：名古屋品証研株式会社 松田 一二三 氏 | 10 社 18 |
| 2. 12. 2 ～ 3 | 飯田市 | JISQ9100 内部監査員養成研修 講師：名古屋品証研株式会社 松田 一二三 氏 | 8 社 24 |
| 2. 8. 25 | 飯田市 | 特殊工程技術研修 (表面処理、塗装および関連規格) 講師：多摩川パーツマニュファクチャリング(株) 技術部 主任 嶽野 洋平 氏 | 8 社 13 |
| 2. 11. 27 | 飯田市 | 特殊工程技術研修 (表面処理、塗装および関連規格) 講師：多摩川パーツマニュファクチャリング(株) 技術部 主任 嶽野 洋平 氏 | 6 社 13 |
| 2. 12. 18 | 飯田市 | 航空機部品製造 生産技術研修 (治工具、図面/工程仕様書/変更管理) 講師：(株)ブイ・アール・テクノセンター 河原 茂 氏 (治工具概論) 田島 映久 氏 (図面/工程仕様書/設計変更管理) | 4 社 10 |

(5) 航空機部品品質保証力等強化事業

航空機産業人材の育成や航空機産業に関する工場内の体制整備に関する県内外で開催される講習会へ県内事業所の従業員が参加する費用を補助する「航空機産業人材育成補助金」及びコンサル指導のために専門人材を県内事業所へ招へいする費用を補助する「航空機産業企業内体制整備補助金」を実施した。

ア 航空機産業人材育成補助金 採択件数：5件

イ 航空機産業企業内体制整備補助金 採択件数：5件

VI 広報等事業

1 学会等支援事業

学会、研究会等が実施する産学官連携事業が効果的に実施できるよう共催、後援等の支援を行った。

2 テクノニュース発行事業

テクノ財団の理解と事業の周知のため、「テクノニュース」No. 39並びにNo. 40を発行した。

3 財団ホームページの充実、広報事業

テクノ財団の理解と事業の周知のため、パンフレット「新産業創出への挑戦」を作成した。また、ホームページ(<http://www.tech.or.jp>)やダイレクトメールなどで財団事業のPRやイベント情報等を提供した。

4 研究開発成果等情報発信・普及拡大事業

研究開発の成果等を広く情報発信するため、過去の当財団事業に関連した企業を中心にグローバルな規模の展示会への出展を支援した。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 来場者 |
|--|--------------|---|----------------|
| 2.11.18 ～11.20 (継続展 示：会期 終了後～ 3.5.21) | バーチャ ル展示会 | <IPF Japan 2020 (バーチャル展示会) > 出展内容 ① ㈱ハーモ ・粉砕機、産業用ロボット(射出成形品自動取出装置)プラスチック成形機周辺合理化機器の開発・製造・販売 ② ㈱羽生田鉄工所 ・FRP成形装置、原料乾燥装置(ドライヤー) ③ ㈱ダイワ ・プラスチック素材の販売、樹脂研磨 ④ ㈱宮坂ゴム ・自動車用・工業用・精密機器用・医療機器用ゴム部品及び樹脂部品の製造販売 ⑤ ㈱nittoh ・光学関連機器の開発および製造、プラスチック成形、金型製造、表面処理 ⑥ ㈱南信化成 ・自動車部品、全自動インサート成形、精密射出成形 | 全体 (13,986) |

参加者計(延べ) 2,778

地域センター事業

[善光寺バレー地域センター]

I 産学官交流事業

1 善光寺バレーコラボネット

善バレー地域企業における経営者、技術管理者、中堅技術者及び大学等関係者の交流会を開催し、企業間の技術交流や産学官交流を促進した。地域企業の共同技術開発へ向け、会員企業の得意とする技術の紹介などに力を入れて支援した。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|-----------|-----|--|-----|
| 2. 6. 25 | 長野市 | 令和2年度通常総会 第64回例会（令和2年度第1回） 《講演》 「デジタルトランスフォーメーションの考え方・進め方」 ウイングアーク1st株式会社データエンパワーメント 調査室 室長 大川 真史 氏 | 29 |
| 2. 8. 18 | 長野市 | 第65回例会（令和2年度第2回） 《会員発表》 ①「株式会社鈴木での医療機器のとりくみ」 株式会社鈴木 取締役常務執行役員/エスメディカル株式 会社取締役社長本部長 高山 章 氏 ②「長野愛知電機 事業紹介」 長野愛知電機株式会社電機部 品質保証グループ 副部長兼グループ長 石坂 博一 氏 ③「会社紹介と電解水生成器開発の取組みについて」 テクノエクセル株式会社技術本部長 静谷 慶裕 氏 | 29 |
| 2. 10. 13 | 長野市 | 第66回例会（令和2年度第3回） 《講演》 ①「IoT ビックデータはゴミ屋敷」 株式会社ソルティスター 代表取締役 岩井 昇一 氏 ②「ロボット+AI 技術開発による「介護、教育、健康分野」の アプリ開発に挑戦」 株式会社ロゴス 代表取締役 若林 秀行 氏 | 27 |
| 3. 3. 2 | 長野市 | 第67回例会（令和2年度第4回） 《講演》「長距離無線技術で構築するIoT システム」 株式会社サーキットデザイン代表取締役社長 小池 幸永 氏 《会員発表》 ①「地域課題解決に向けたリモートセンシングの活用」 株式会社羽生田鉄工所 代表取締役 羽生田 豪太 氏 ②「被災をバネに加速した生産革新への取組み」 NiKKi Fron株式会社復旧・創成統括本部 加工ライン復旧責任者 IoT 研究室 室長 宮崎 桂介 氏 | 21 |

2 スマートネットワーク交流事業

技術・研究開発に携わる企業人の交流の場である「スマートネットワーク」の事業に対し、先端技術者との交流の機会や最新情報の提供等の支援を行った。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|----------|-----|---|-----|
| 2. 7. 17 | 長野市 | 令和2年度通常総会 ≪記念講演≫「イノベーターを目指すMimakiのイノベーション」 ミマキエンジニアリング株式会社 代表取締役会長 池田 明 氏 | 24 |
| 2. 9. 4 | 長野市 | 会員意見交換会 「スマートネットワークの今後について」 第1回例会（会員発表） ①「限らない挑戦 ～新しい技術への取り組み～」 株式会社丸真製作所 生産技術部 上田 朋也 氏 ②「それからの人生～今や100年時代一度きり輝かしく!～」 中央大学法学部通信教育課程 講師 福島 康正 氏 | 25 |
| 2. 9. 18 | 長野市 | 臨時役員会 「スマートネットワークの今後について」 役員及び会員の意見交換会 | 15 |
| 2. 12. 4 | 長野市 | 臨時総会 第2回例会（会員発表） ①「微細穴加工機ビサイア、その後・・・」 株式会社ダイヤ精機製作所 代表取締役 小口 裕司 氏 ②「最近の歯車加工技術の話題」 国立長野高専名誉教授 岸 佐年 氏 | 21 |

3 善バレミニ学会（技術交流会を含む）

大学及び高専等と地域企業による共同研究の成果を発表する「善バレミニ学会」を長野高専と共同で開催し、技術開発者の交流と産学官連携による研究開発の取組を支援した。

（1）善バレミニ学会

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|-----------|-------|---|-----|
| 2. 11. 27 | オンライン | 善バレミニ学会（善光寺バレー研究成果報告会 2020） ≪研究報告・事業紹介≫ ①「手指の動きを用いた仮想衣服製作システムに関する研究」 国立長野高専 電子制御工学科 召田 優子 氏 ②「シンガポールでの共同プロジェクト」 国立長野高専 電子情報工学科 芦田 和毅 氏 ③「磁気解析技術と高効率高速モータ開発への取り組み」 国立長野高専 電子情報工学科 楡井 雅巳 氏 ④「長野県は宇宙県」から始まる宇宙県への旅 国立長野高専 教授 大西 浩次 氏 ⑤「3Dスキャナーの開発とその活用」 クモノスコーポレーション株式会社 戦略統括部 統括部長 船越 亮 氏 ⑥「超高速信号用プリント基板設計支援のための シミュレーション解析技術の動向」 アルティメイトテクノロジーズ株式会社 取締役 中村 篤 氏 ⑦「地域課題解決に向けた衛星データの活用」 (株)羽生田鉄工所 代表取締役 羽生田 豪太 氏 ⑧「分光データの解析による果実の評価」 マイクロコントロールシステムズ株式会社 開発部長 藤井 昇 氏 ≪特別講演≫ 「令和元年千曲川水害の概要とその教訓」 信州大学工学部水環境・土木工学科 豊田 政史 氏 | 33 |

(2) 長野高専技術交流会

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|----------|----------------------|--|-----|
| 2. 9. 16 | 長野市 (会場及びオンライン開催) | 第 60 回技術交流会 <<技術シーズ発表>> 「長野市下駒沢地区を対象とした被災状況と避難行動の事例報告」 「長野市のコンパクト+ネットアーク形成を考慮した用途別都市機能施設の集積が居住地からの年齢階層および移動手段のトリップ特性に与える影響分析」 国立長野高専環境都市工学科 柳澤 吉保 氏 <<企業プレゼンテーション>> ①「工夫を凝らし、自社と地域の繁栄を目指して！」 株式会社やま 社長 赤池 健 氏 ②「新築に負けない新たな価値づくり・リノベーション」 株式会社アドイングロ 社長 石黒 ちとせ 氏 | 27 |
| 3. 1. 20 | 長野市 (会場及びオンライン開催) | 第 61 回技術交流会 <<技術シーズ発表>> 「準天頂衛星システム「みちびき」および5G用平面アンテナの開発」 国立長野高専 電気電子工学科 柄澤 孝一 氏 <<企業プレゼンテーション>> ①「地域と共に歩む為の事業継続力の強化」 (社福) 賛育会 介護医療院とよの・賛育会クリニック 管理課長 荒井 伴行 氏 ②「情勢の変化を見据えた新たな製品開発」 株式会社システムプラン 社長 原 勝敏 氏 | 14 |

4 公設試験研究機関研究成果普及事業

長野県工業技術総合センターの研究成果の活用及び事業化を支援するため、地域内にある食品技術部門における研究成果の普及発表会を共同で実施した。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|-----------|-------|--|-----|
| 2. 11. 16 | オンライン | 長野県工業技術総合センター 研究成果発表会 「日本食の健康有益性 ～ご飯の重要性を考える～」 東北大学大学院農学研究科 准教授 都築 毅 氏 | 99 |
| 3. 1. 15 | オンライン | 長野県工業技術総合センター 金属積層造形技術研究会 「チタン積層造形合金の最新研究内容と応用」 大阪大学接合科学研究所 教授 近藤 勝義 氏 | 42 |

II 新産業創出支援事業

1 コーディネート活動事業

担当地域の企業や大学等を訪問し、企業ニーズを探るとともに、大学・高専等の技術シーズの発掘を行うコーディネート活動を実施した。また、技術開発・商品化・市場開拓等に関する課題解決や産学官研究開発グループの創出などに向けて効果的な事業企画・運営に努めた。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者数 |
|---------------------|-----|---|------|
| 2. 4月 ～ 3. 3月 | 圏域内 | 活動実績 ・企業訪問などの企業等連携 123件 ・大学訪問などの大学等連携 35件 ・主催研究会等 138件 ・その他研究会等参加 40件 ・その他 1件 計 337件 活動成果 ・技術シーズ等の紹介 3件 ・共同研究成立 3件 ・提案公募型助成制度提案支援状況 3件 | — |

2 地域エネルギー利用技術研究会

地域資源である「地域の再生可能エネルギー源」の有効利用に必要な新技術の開発を目指して、技術課題の探索、その課題解決に資する技術シーズの紹介等を行うとともに、具体的な研究開発プロジェクトの立ち上げを目指す研究会を開催した。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|-----------|----------------------|---|-----|
| 2. 8. 5 | 長野市 (会場及びオンライン開催) | 地域エネルギー利用技術研究会 第1回講演会 事業紹介：「自然エネルギーで北信に新しい文化を」 ながの電力株式会社 地域エナジーデザイナー 塩澤 美幸 氏 講演：「デジタルグリッドの作る地方分散型電力システム ～地方再生の切り札を手中に～」 非営利型一般社団法人デジタルグリッドコンソーシアム 代表理事 阿部 力也 氏 | 24 |
| 2. 11. 12 | 長野市 (会場及びオンライン開催) | 地域エネルギー利用技術研究会 第2回講演会 「農作物に必要な光を通す太陽電池を用いたSDGsファーム構想」 公立諏訪東京理科大学 工学部機械電気工学科 教授 渡邊 康之 氏 | 24 |
| 3. 1. 13 | 長野市 (会場及びオンライン開催) | 地域エネルギー利用技術研究会 第3回講演会 「系統にやさしいスマートな再エネ ～再エネを活かすエネルギーネットワーク技術～」 国立研究開発法人産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所 (FREA) 再生可能エネルギー研究センター 研究チーム長 大谷 謙仁 氏 | 28 |

3 ながの地域「水素エネルギー技術研究会」

成長期待分野である水素エネルギー関連ビジネスへの地域企業の参入を目指して、水素発生装置、燃料電池車、エネファームなどの技術課題の探索及びその課題解決に資する技術シーズの紹介等を行う目的で研究会を開催した。水素エネルギー社会実現に向けた取組や水素・燃料電池関連の技術を幅広く紹介し、地域企業に役立つ最新の動向を伝えた。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|----------|-----|--|-----|
| 2. 9. 24 | 長野市 | ながの地域「水素エネルギー技術研究会」 第1回講演会 水素エネルギー関連ビジネス支援セミナー 「地域における水素・燃料電池の動向」 山梨県産業労働部成長産業推進課主事 稲垣 有弥 氏 | 30 |

4 善バレ・製造の IoT 活用研究会

製造現場での生産性の向上や省力化に必要な IoT システムの導入・構築による各種生産データの収集とその利活用を促進するため、先進の IoT 関連技術シーズの紹介、導入支援機器による実習、事例見学等を行い、地域企業の経営革新に役立てた。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|-----------|-----|---|-----|
| 2. 7. 16 | 長野市 | ① 令和 2 年度の事業予定について（事業説明） 善光寺バレ地域センター事務局長 ② 話題提供「長野県工業技術総合センター AI-Cloud のご紹介」 長野県工業技術総合センター 環境・情報技術部門 情報システム部研究員 坂本 潤嗣 氏 ③ 講演「システム開発で日本のモノづくりを応援する ～ これまでに得られた知見とこれから見据える課題～」 株式会社テクノア AI・IoT 事業部事業部長 西村 恭範 氏 | 20 |
| 2. 10. 27 | 松本市 | 第 2 回例会（研修会） ① 「センターIoT キットの活用について」 長野県工業技術総合センター 環境・情報技術部門 情報システム部技師 北村 泰地 氏 ② 「生産現場 IoT 利活用共同研究について」 長野県工業技術総合センター 環境・情報技術部門 情報システム部部長 窪田 昭真 氏 | 10 |
| 2. 11. 6 | 長野市 | 第 3 回例会 ① 講演：「製造業におけるデータ活用の第一歩 ～ 外観検査・生産計画への AI 活用を知る ～」 株式会社 スカイディスク セールス&マーケティング部 下 佑士朗 氏 ② 研究会の活用に向けた意見交換 善光寺バレ地域センター事務局長 | 13 |
| 2. 12. 9 | 長野市 | 第 4 回例会 「IoT におけるエッジ・コンピューティングの在り方とは？ ～ 中小企業の製品活用事例の紹介 ～」 株式会社 金沢エンジニアリングシステムズ 開発部 主幹技師 小林 康博 氏 | 11 |
| 3. 2. 18 | 長野市 | 第 5 回例会（技術セミナー） ①「IoT 研究会取組事例に学ぶ導入のポイントと AxisIoT のご紹介」 キッセイコムテック株式会社 ビジネスソリューション事業部 細井 健太 氏 ② 「簡単、安価、短期間での IoT 構築をサポート PoC～本格的なエッジ・コンピューティングを実現」 株式会社ソルティスター 代表取締役 岩井 昇一 氏 ③ 令和 2 年度 事業報告会（参加各社からの報告） | 11 |

善バレ・製造の IoT 活用研究会（関連事業）

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|-----------|-------|---|-----|
| 2. 12. 10 | オンライン | 技術発表セミナー（善光寺バレ地域センター 後援事業） 製造業における IoT 構築支援 ① 「製造業における IoT 構築」（株）ソルティスター ② 「PLC からのデータ収集技術」（株）匠電舎 ③ 「製品/ソリューションご紹介」 （株）萩原テクノソリューションズ | 79 |

| | | | |
|----------|----------------------|--|----|
| 3. 1. 15 | 長野市 (会場及びオンライン開催) | 総務省信越総合通信局主催 「工場向けワイヤレス IoT 講習会 in 長野」 (善光寺バレー地域センター 共催事業) | 50 |
|----------|----------------------|--|----|

5 地域産業活性化支援事業

産業活性化に向けて、地域で実施される共同研究開発活動やものづくり催事等に対し、効果的な事業推進が実施できるよう支援を行った。

また、管内の企業を支援するコーディネータやアドバイザー等による情報共有や意見交換等を行うコーディネータ等連携推進会議を開催した。

(1) コーディネータ等連携推進会議

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|---------|-----|--|-----|
| 2. 7. 7 | 長野市 | 善バレ・コーディネータ連携推進会議 (第1回) 参加各機関からの情報提供及び意見交換 | 15 |
| 3. 3. 3 | 長野市 | 善バレ・コーディネータ連携推進会議 (第2回) ①話題提供:「長野県産小麦の特性と活用」 柄木田製粉株式会社取 締役 宮崎充朗氏 ②参加各機関からの情報提供、意見交換 | 18 |

III 共同研究等推進事業

1 提案公募型等研究開発プロジェクト導入支援事業

令和元年度長野県テクノ財団のコーディネート活動支援事業で導入支援を行った「機能性ダイヤモンド電極の製法開発」について、長野市ものづくり研究開発事業への応募を支援し、採択された。

2 提案公募型等研究開発プロジェクト運営事業

令和元年度に採択された戦略的基盤技術高度化支援事業 (サポイン) の2テーマ上について事業管理法人としてその運営を支援した。

3 提案公募型等研究開発プロジェクトフォローアップ事業

終了したサポイン事業の補完研究等について支援を行った。

- (1) サポイン「高効率成形システムを有する複合材向けオートクレーブの研究開発」
- (2) ものづくり中小企業・小規模事業者連携支援事業

可視光通信技術を活かした「高齢者・身障者の生活支援システム」の開発・事業化を目指すWGの支援を実施した。

IV 人材育成事業

1 善バレ・ハイテクセミナー

地域企業の新技術・新製品開発の動きを促進するため、成長が期待される分野の技術動向や研究成果の早期事業化に向けた取組等を紹介するセミナーを開催した。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|----------|----------------------|---|-----|
| 2. 9. 25 | 長野市 (会場及びオンライン開催) | 第1回講演会 「加工不可能の文字はない！ を実践するまでの道のり！ 社員とともに」 野田プラスチック精工(株)代表取締役社長 野田 浩輝 氏 | 45 |

2 応用機械設計研修プログラム

製造現場では高い設計品質能力の技術者が求められることから、長野高専と連携して講義と実習により実践的な設計技術の研修を実施し、技術者のスキルアップと研究開発人材の基盤づくりを行った。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|----------------------------|-------|--|------|
| 3. 1. 6 ～ 2. 4 全 4 回 | オンライン | 機械精度設計の基礎実践講座 国立長野高専電子制御工学科 准教授 鈴木 伸哉 氏 | 延 32 |

3 Raspberry Pi を用いた IoT 入門講座

デバイス制御から IoT のツールとして普及が進む Raspberry Pi を取り上げ、長野高専と連携して「IoT 入門講座」を開設し、新製品開発に対応できる実践的技術者を育成した。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|------------------------------|-------|--|------|
| 3. 1. 22 | オンライン | 第 1 回「IoT に活用するセンサ計測技術」 国立長野高専電気電子工学科 教授 渡辺 誠一 氏 | 13 |
| 3. 1. 29 | オンライン | 第 2 回「IoT に活用するアンテナ技術」 国立長野高専電気電子工学科 教授 柄澤 孝一 氏 | 13 |
| 3. 2. 12 ～ 2. 26 全 3 回 | 長野市 | 第 3 回～第 5 回「Raspberry Pi による IoT 入門」 国立長野高専 電子情報工学科 准教授 芦田 和毅 氏 准教授 藤田 悠 氏 、電気電子工学科 助教 苅米 志帆乃 氏 | 延 42 |

4 子供ものづくり科学教室

長野県工業技術総合センターの「親子ものづくり教室」及び長野少年少女発明クラブの「科学工作教室」を共催等し、金属製のオリジナルキーホルダーづくりや手回し発電機で電気を貯め走る自動車づくりの体験を通じて、「科学する心」を醸成した。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|----------|-----|---|-----|
| 2. 8. 2 | 長野市 | 令和 2 年度 工業技術総合センター 材料技術部門 夏休み公開 ～科学に親しむ夏休み～ ・親子体験教室（電子顕微鏡、X線検査装置、無響室等の実演） | 30 |
| 3. 2. 16 | 千曲市 | 「信州さらしな田毎の月プロジェクト」実行委員会 ・更埴西中学校での科学教室 | 110 |
| 3. 2. 19 | 千曲市 | 「信州さらしな田毎の月プロジェクト」実行委員会 ・屋代高等学校附属中学校での科学教室 | 80 |

V 広報等事業

メルマガ「善バレニュース」の配信

テクノ財団が実施する事業や各種技術開発支援制度・経営情報の提供をタイミング良く配信するとともに、地域企業と当センターとの効果的オンライン接点の形成を目指した。

- (1) ホームページ (<http://www.tech.or.jp/zen/>) による情報提供
- (2) メルマガ「善バレニュース」の配信（2020 年度 31 件）

参加者計（延べ） 1, 104名

[浅間テクノポリス地域センター]

I 産学官交流事業

1 浅間幹部技術者交流フォーラム

地域企業の技術幹部等が、アドバイザー（大学の先生）や講師、コーディネータと共に、技術シーズやニーズの情報交換を行い、相互研鑽及びネットワークづくりを進め、新たな研究開発を効果的に企画・実施できるように支援した。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|----------|-------|---|-----|
| 2. 8. 18 | オンライン | 第 61 回浅間幹部技術者交流フォーラム ・新型コロナ禍での各企業状況報告 ・今期フォーラム事業の検討 ・次回フォーラムの打合せ、その他 | 14 |
| 2. 12. 3 | オンライン | 第 62 回 浅間幹部技術者交流フォーラム 「ポストコロナのビジネスへの転換シナリオとは？」 信州大学 繊維学部 教授 村上 泰氏 | 8 |
| 3. 2. 19 | オンライン | 第 63 回 浅間幹部技術者交流フォーラム ・テクノ財団からの報告 ・来期フォーラム事業に対する意見交換 ・その他 | 9 |

II 新産業創出支援事業

1 コーディネート活動事業

担当地域内の企業を訪問し、技術開発・商品化・市場開拓等の企業の課題解決や、産学官研究開発グループの創出などに向けたコーディネート活動をより活発に実施するとともに、当地域センター事業に対する企業ニーズを探り、効果的な事業企画・運営に資した。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|-----------------------|----------|---|-----|
| 2. 4 月 ～ 3. 3 月 | 上田市 他 | 活動実績 企業連携 107 件 大学等連携 27 件 研究会開催 60 件 その他研究会等産力 17 件 その他 34 件 活動成果 共同研究・実用化等支援(※1) 5 件 提案公募型助成制度等提案支援状況 1 件 | — |

2 地域産業革新活動支援事業

地域内で開催される産業展・学会等を支援するとともに、地域コーディネータ連絡協議会等に参加し、情報共有を行い、産学官連携の活性化を図った。コロナ禍のため、オンライン展示会として開催。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|------------------|-----|--|-----|
| 2. 10. 22 ～24 | 上田市 | 上田地域産業展 2020 協賛 オンライン開催 出展企業・団体 44 団体 | — |

3 感性応用計測研究会

「使いやすさ」、「心地よさ」といった感性をものづくりに取り入れ、感性の数値化及び分析評価を行い、製品開発、デザイン、マーケティングに生かすための調査・研究を行った。

今年度は「心地よさ」の計測・分析・評価の研究を行い、「心地よさ」に関する感性計測の可能性を研究した。コロナ禍の影響を受けてオンライン開催にすることで、結果的には遠方からの

参加も増え盛況であった。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|-----------|-------|--|-----|
| 2. 7. 8 | オンライン | <p>第1回 研究会</p> <p>《特別講演》</p> <p>「24GHz 帯レーダーを用いた高度センシング技術の研究開発」 キッセイコムテック (株) 公共・医療ソリューション事業部 吉江 正樹 氏</p> <p>《研究発表》</p> <p>「ニューラルネットワークを用いた心理生理反応からの肌着の着心地評価」 信州大学大学院 総合医理工学研究科 修士課程2年 唐沢 悠綺 氏</p> <p>「顔と表情の感性計測・評価」 早稲田大学人間総合研究センター 菅原 徹 氏</p> | 39 |
| 2. 9. 24 | オンライン | <p>第2回 研究会</p> <p>①特別講演</p> <p>「親水化ポリプロピレン短繊維「Duron®Hp」の開発」 大和紡績 (株) 製品・テキスタイル事業本部 水橋 秀章 氏</p> <p>②研究発表</p> <p>「地域高齢者の健康増進と QOL 向上を目指した取り組みの現状と課題について」 信州大学大学院修士課程2年 三浦 吾郎 氏</p> <p>「心身反応計測による機能性加工された肌着の着心地評価」 信州大学大学院修士課程1年 栗原 裕子 氏</p> <p>「足裏への快適な熱刺激と他感覚への刺激呈示による中枢神経系の反応」 信州大学大学院博士課程2年 藤原 聖也 氏</p> | 25 |
| 2. 12. 23 | オンライン | <p>第3回 研究会</p> <p>「エリート長距離ランナーのランニング動作解析」 長野県工業技術総合センター 材料技術部門 村澤 智啓 氏</p> <p>「社会課題解決に向けた fNIRS の活用」 (株) 島津製作所分析計測事業部 四方田 聡 氏</p> <p>「発汗センサを用いた心身反応計測の試み ーウェアラブル発汗センサの紹介ー」 (株) スキノス 西村 美也子 氏</p> | 25 |
| 3. 2. 26 | オンライン | <p>第4回 研究会</p> <p>「歩行ケア事業のご紹介」～AI 転倒リスク評価システムによる【寝たきりゼロへの挑戦】～ マイクロストーン (株) 代表取締役社長白鳥 敬日 瑚 氏</p> <p>「木製天板の柄合わせに関する取り組み」 岐阜生活技術研究所試験研究部 山口 穂高 氏</p> <p>「大学生におけるわくわく感の心理構造分析」 信州大学大学院修士課程2年 雨宮 瑞希 氏</p> | 23 |

Ⅲ 共同研究等推進事業

1 提案公募型研究開発プロジェクト導入支援事業

1件のテーマについて、サポインへの公募申請に向けた支援を実施したが、採択には至らなかった。

2 提案公募型研究開発プロジェクトフォローアップ事業（含む事業化状況報告）

終了した研究開発プロジェクト5件についてフォローアップを行った。

- (1) サポイン「制御ソフトウェアの高度化による産業用超高安定度電圧標準装置の開発」
- (2) サポイン「鉛フリーの無着色・低光弾性の高屈折率レンズの開発」
- (3) サポイン「光波長測定装置用小型波長掃引光源モジュールの開発」
- (4) サポイン「高精度厚膜・高安定接合技術を確立した高性能低コスト圧力トランスミッターの開発」
- (5) サポイン「腕時計型連続血圧測定システム開発」

Ⅳ 人材育成事業

1 “浅テク・ハイテクセミナー” シリーズ

新技術・新製品開発に向けて、今後成長が期待される「健康・医療」、「環境・エネルギー」、「次世代交通」等の分野から先端技術の動向をテーマとしたセミナーを実施した。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|-----------|-------|--|-----|
| 2. 10. 27 | オンライン | 「センシング技術と通信技術を統合した IoT ソリューションの事例紹介」 公立諏訪東京理科大学 副学長 松江 英明 氏 | 53 |
| 3. 1. 15 | オンライン | 「新たな介護のための研究・開発の現状と課題」 SOMPO ホールディングス株式会社 Future Care Lab in Japan 技術責任者 高橋 健司 氏 | 108 |

2 マネジメントシステム改善研究会

研究開発型企業における新技術・新製品の研究開発とその成果の早期事業化には、各種マネジメントシステムの構築・運用・改善が欠かせない。最新情報の共有や相互啓発により自社システムの向上を目指す研究会を開催した。（アドバイザー：信州大学繊維学部教授 村上 泰 氏）

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|-----------|-------|--|-----|
| 2. 7. 31 | オンライン | 第 46 回研究会 ・各社近況報告 ・ISO 関係の情報交換、意見交換 ・今後の活動について ・村上先生のまとめ | 12 |
| 2. 10. 1 | オンライン | 第 47 回研究会 ・BCP 取組みの各社近況報告 ・今後の研究会活動に関する検討会 ・村上先生のまとめ | 11 |
| 2. 11. 19 | オンライン | 第 48 回研究会 ・BCP 関連講話 「台風 19 号による被災経験から」 講師：NiKKi Fron 株式会社常務執行役員 新保隆文氏 ・維持・更新審査の受審報告と意見交換 ・村上先生のまとめ | 11 |

| | | | |
|---------|-------|--|----|
| 3. 2. 3 | オンライン | 第 49 回研究会 ・令和 3 年度研究会活動についての意見交換会 ・審査機関関係者の参加について ・村上先生のまとめ | 11 |
|---------|-------|--|----|

3 若手技術者養成講座

地域企業における技術力の底上げを図るため、現場で役立つ機械加工・制御技術の基礎を習得する講座を開催した。

(1) 講座名 機械加工法コース (上田)

(講師 長野高専地域共同テクノセンター主査 市川 敬夫 氏)

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|----------|-----|--|-----|
| 2. 9. 2 | 坂城町 | 第 1 回 ・機械加工の種類と加工のしくみ、機械に使われる部品、材料の基礎、図面の基本 | 33 |
| 2. 9. 9 | 坂城町 | 第 2 回 ・図面の基本、切削油の種類、測定、穴あけ加工 | 33 |
| 2. 9. 16 | 坂城町 | 第 3 回 ・穴あけ加工、旋盤による旋削加工、フライス盤による加工 | 33 |
| 2. 9. 23 | 坂城町 | 第 4 回 ・フライス盤による加工、研削加工 | 33 |
| 2. 9. 30 | 坂城町 | 第 5 回 ・その他の加工、数値制御加工、安全に作業をするためには | 33 |

(2) 講座名 制御・Iot 初級コース (オンライン開催)

(講師 浅間テクノポリス地域センターコーディネータ 湯浅 正樹)

(アドバイザー (有)ジェイウインド 長野高専客員教授 小出 繁樹 氏)

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|----------|-------|---|-----|
| 2. 9. 11 | オンライン | 第 1 回 1. プログラムとは 2. 何故 Python を使うのか 3. Python のインストール、Windows PowerShell での立ち上げ操作 4. Thonny のインストール操作 5. Python でのプログラミングの事例、ポイント、間違いやすいことなど 6. プログラムの考え方・作り方 | 45 |
| 2. 9. 18 | オンライン | 第 2 回 7. Python の基本的な文法について (1) | 45 |
| 2. 9. 25 | オンライン | 第 3 回 8. Python の基本的な文法について (2) | 45 |

(3) 講座名 制御・Iot 中級コース (オンライン開催)

(講師 (有)ジェイウインド 長野高専客員教授 小出 繁樹 氏)

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|-----------|-------|---|-----|
| 2. 11. 20 | オンライン | 第 1 回 1. IoT について 2. RaspberryPi の基本・使う前の準備 3. Linux の基本 4. Python について | 16 |
| 2. 11. 27 | オンライン | 第 2 回 5. プログラミングのための基礎 6. 実際に機材を使い Python でプログラミングを行い動作 | 16 |

| | | 確認 | |
|-----------|-------|--|----|
| 2. 12. 4 | オンライン | 第3回 7. 各種センサー入力やPWM出力させるプログラムを作成して動作確認 | 16 |
| 2. 12. 11 | オンライン | 第4回 8. カメラモジュールを使った画像処理 9. インターネットを使った画像処理 10. Node-REDの簡単な使用方法 | 16 |

5 子供科学技術教室（ロボコン）

地域の子供たち（小中学生）を対象に、ものづくりの楽しさを味わい、創造力を養う子供科学技術教室（ロボコン）を開催した。地域企業のボランティア技術スタッフや信州大学の学生等と共に事業を運営した。なお、上田ロボコンについては、コロナ禍のため中止となった。

（1）軽井沢＊望月ロボコン

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|--------------------|------|--|-----|
| 2. 11. 7 ～11. 8 | 望月町 | 望月教室 新規参加者向けの武者ロボ組立教室 経験者も含めた教室、組立調整とチーム編成、ミニゲーム実施 | 12 |
| 2. 11. 15 | 望月町 | 望月教室 成果発表会 駆ける武者ロボ！国取りメカトロ大合戦 in 望月 開催 | 12 |
| 2. 12. 12 | 軽井沢町 | 軽井沢プレ大会 軽井沢子どもにメカトロ教室・ロボコンの紹介と募集イベント | — |
| 3. 2. 7 | 軽井沢町 | 軽井沢教室 新規参加者向けの武者ロボ組立教室 経験者も含めた教室、組立調整とチーム編成、ミニゲーム実施 | 18 |
| 3. 2. 28 | 軽井沢町 | 軽井沢教室 成果発表会 駆ける武者ロボ！国取りメカトロ大合戦 in 軽井沢 開催 | 18 |

V 広報等事業

ホームページ、Eメール等による情報発信

当地域センター事業や各種経営情報の提供を行うとともに、地域企業と当センターとの効果的オンライン接点の形成を目指した。また、ホームページの充実を図るとともに、Eメールにより研究開発・人材育成等の情報を提供した。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|------|-----|--|-----|
| 通年 | — | ホームページ (http://www.tech.or.jp/asama/) による情報提供 Eメール同報による講演会等の情報提供 | — |

参加者計（延べ） 773名

[アルプスハイランド地域センター]

I 産学官交流事業

1 アルプス広域コーディネータ連携事業

地域の産業支援機関のコーディネータや担当者が集まる連絡会議（アルプス広域コーディネータ連絡会議）を毎月開催して、企業のニーズ及び各種の支援制度情報をコーディネータ間で共有し、連携による当地域の企業支援を促進した他、産学官連携交流会事業の共同企画に当たった。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のために、全てオンラインにて開催した。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|-----------|-----|--|-----|
| 2. 4. 24 | 松本市 | 第1回アルプス広域コーディネータ連絡会議 新型コロナウイルス感染拡大のため中止 | 0 |
| 2. 5. 29 | 松本市 | 第2回アルプス広域コーディネータ連絡会議オンライン開催 ・情報交換、 | 25 |
| 2. 6. 26 | 松本市 | 第3回アルプス広域コーディネータ連絡会議オンライン開催 ・情報交換 | 20 |
| 2. 7. 31 | 松本市 | 第4回アルプス広域コーディネータ連絡会議オンライン開催 ・情報交換 | 17 |
| 2. 8. 28 | 松本市 | 第5回アルプス広域コーディネータ連絡会議オンライン開催 ・情報交換、・産学官連携交流会事業企画について | 21 |
| 2. 9. 25 | 松本市 | 第6回アルプス広域コーディネータ連絡会議オンライン開催 ・産学官連携交流会事業実施について、・情報交換 | 21 |
| 2. 10. 30 | 松本市 | 第7回アルプス広域コーディネータ連絡会議オンライン開催 ・情報交換 | 18 |
| 2. 11. 27 | 松本市 | 第8回アルプス広域コーディネータ連絡会議オンライン開催 ・情報交換、・交流会 | 23 |
| 2. 12. 25 | 松本市 | 第9回アルプス広域コーディネータ連絡会議オンライン開催 ・情報交換 | 25 |
| 3. 1. 29 | 松本市 | 第10回アルプス広域コーディネータ連絡会議オンライン開催 ・情報交換 | 24 |
| 3. 2. 26 | 松本市 | 第11回アルプス広域コーディネータ連絡会議オンライン開催 ・情報交換 | 19 |
| 3. 3. 26 | 松本市 | 第12回アルプス広域コーディネータ連絡会議オンライン開催 ・情報交換 | 23 |

2 大学・高専・企業との産学官連携交流会事業

県内大学等の幅広いシーズを紹介するとともに地域企業の技術と経営情報の展示・プレゼンテーションを行うことで「産」と「学」が知り合う産学官連携交流会を開催した。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|----------|--------------------|---|--------------------------|
| 2. 10. 8 | 松本市 (会場及びオンライン) | 「産学官連携交流会 in 松本 2020 & 産業技術の芽シーズ発表会」 を中部イノベネットとの共催で開催 会場：まつもと芸術館を主会場に3拠点（松本、名古屋、東京）からのオンライン配信 《基調講演》 「自動運転用の最新車載及び開発プラットフォーム技術」 元 NVIDIA 技術顧問 馬路 徹 氏 《研究発表》 ① 「ソノケミカルコーティング」 信州大学工学部 物質化学科 教授 酒井 俊郎 氏 | 185 (参加 申込 260) |

| | | |
|--|--|--|
| | <p>②「マイクロ・ナノテクノロジーの医工学や環境問題への応用」 信州大学繊維学部 機械ロボット学科 准教授 秋山 佳丈 氏</p> <p>③「準天頂衛星システム「みちびき」用平面アンテナの開発」 長野工業高等専門学校 電気電子工学科 教授 柄澤 孝一 氏</p> <p>④「無線操縦式畦畔除草機の操縦支援システムについて」 長野県工業技術総合センター環境・情報技術部門 情報システム部 研究員 油科 賢 氏</p> <p>⑤「農作物栽培に必要な光を通す有機太陽電池」 公立諏訪東京理科大学工学部 機械電気工学科 教授 渡邊 康之 氏</p> <p>⑥「材料設計計算工学の未来はここに!!! フェーズフィールド法・特性計算・インフィマティクスによる次世代材料開発」 名古屋大学工学研究科 材料デザイン工学専攻 教授 小山 敏幸 氏</p> <p>⑦「CFRTP 曲げ加工装置および CFRTP3D 曲げパイプ」 あいち産業科学技術総合センター 三河繊維技術センター 主任研究員 原田 真 氏</p> <p>⑧「光で危険ゾーンを可視化して注意を促し労働災害を低減」 光産業創成大学院大学発ベンチャー企業 パイフォニクス (株) 代表取締役 池田 貴裕 氏</p> <p>⑨ 「レーザーによる金属表面処理技術 (平滑化・摩擦低減・応力付与)」 光産業創成大学院大学 光産業創成研究科 准教授 沖原 伸一郎 氏</p> <p>※アーカイブ配信 Youtube にて配信 (11 月 1 日～11 月 30 日)</p> | |
|--|--|--|

II 新産業創出支援事業

1 コーディネート活動事業

コーディネータが企業に出向き経営課題の発掘に努めるとともに、大学・公設試験研究機関の技術シーズを把握し、経営課題の解決に有効な外部経営資源の紹介・引き合せ等に取り組んだ。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|-----------------------|------|--|-----|
| 2. 4 月 ～ 3. 3 月 | 松本市他 | 【令和 3 年度活動実績】 ・企業訪問 56 件 ・大学訪問 9 件 ・研究会開催 190 件 ・その他 13 件 合計 268 件 | — |

[長野大学の森ゼミナールの企業イノベーションプロジェクトを活用した取り組み]

| | | | |
|----------|------------|---|----|
| 2. 5. 25 | 松本市 上田市 | 地域企業の問題解決に向けた産学官連携強化による支援活動として、長野大学の森ゼミナールの企業イノベーションプロジェクトを活用した取組をコーディネート。 ・信栄食品 (松本市) と森ゼミナールによる懇談会開催 | 50 |
| 2. 6. 15 | 松本市 上田市 | ・信栄食品 (松本市) に必要な取組や改革、商品開発へのスタートアッププロジェクト」発表会開催 オンラインにて森ゼミ学生 45 名が 6 班に分かれ発表 | 55 |
| 3. 2. 12 | 松本市 上田市 | ・信栄食品とのイノベーションプロジェクト成果発表会開催 オンラインにて森ゼミ学生 45 名が 6 班に分かれ発表 信栄食品はプロジェクト活動において提案された内容について、製品化に向けた検討を開始 | 55 |

2 アルプスイノベーション研究会事業

中信地域の中小企業若手経営層のネットワークを母体とする研究会で、自社の強みをベースとした知的資産経営報告書作成に向けた個別企業支援を行った。

| | | | |
|------------------------------------|------|--|----|
| 2. 5. 26 ～ 2. 8. 11 (全3回) | 松本市 | 知的資産経営実践講座 個別指導会 コンサルタント 長野県プロフェッショナル人材戦略拠点 中南信エリアマネージャー 中小企業診断士 金子 宣昭 氏 技術アドバイザー 前長野県工業技術総合センター 所長 田口 宗治 氏 技術コーディネーター あづみ野産業振興支援センター 池田 博通 氏 対象企業 (株)関一精機 | 13 |
| 2. 6. 9 ～ 2.12. 24 (全7回) | 安曇野市 | 知的資産経営実践講座 個別指導会 コンサルタント 長野県プロフェッショナル人材戦略拠点 中南信エリアマネージャー 中小企業診断士 金子 宣昭 氏 技術アドバイザー 前長野県工業技術総合センター 所長 田口 宗治 氏 技術コーディネーター あづみ野産業振興支援センター 池田 博通 氏 対象企業 山清電気(株) | 43 |
| 2. 9. 16 ～ 3. 3. 12 (全5回) | 安曇野市 | 知的資産経営実践講座 個別指導会 コンサルタント 長野県プロフェッショナル人材戦略拠点 中南信エリアマネージャー 中小企業診断士 金子 宣昭 氏 技術アドバイザー 前長野県工業技術総合センター 所長 田口 宗治 氏 技術コーディネーター あづみ野産業振興支援センター 池田 博通 氏 対象企業 (株)シーケーテック | 33 |

3 「旬」の技術研究会事業

地域の企業が先進・最新情報を得て、ものづくりの高度化にいち早く取り組み、市場に勝ち残る競争力を確保するために、大学、先進企業等の持つ新規性のある分野の最新技術情報をタイミング良く提供した。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|----------|-----|---|-----|
| 3. 1. 13 | 松本市 | 第1回研究会 オンライン講演会 「デジタルがもたらす構造変革」 ～変化をチャンスに変える価値創造戦略～ 株式会社エクスマーシオン フェロー ／大阪大学招へい准教授 中川 郁夫 氏 | 50 |

4 松本地域産業活性化事業

松本地域の産業高度化と新産業創出促進のため、松本ものづくり産業支援センターと連携して経営革新事例研究会を計画したが、新型コロナウイルスの感染拡大により1回の開催となった。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|-----------|-----|--|-----|
| 2. 11. 18 | 松本市 | オンライン講演会 「スマートファクトリーに向けた自動化のステップ」 (株)FAプロダクツ代表取締役社長 貴田 和 氏 | 30 |

5 地域IoT実用化研究会事業

大きな投資を行わずに、稼働状態の見える化、不具合事象の把握を行うシステムの開発・導入を推進する企業グループ研究会の活動を、塩尻市振興公社（SIP）と連携して計画したが、新型コロナウイルスの感染拡大により中止とした。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|-------|-----|------------------------------|-----|
| 3. 2月 | 塩尻市 | AI/IOTに関わる体験講座や講演会を計画したが開催中止 | 0 |

6 中南信自動化支援事業

新たな研究会事業。中小企業の自動化装置導入を支援するために地域内企業グループの要望、先行している国内機関、企業の支援事例をもとに、県内での支援事業の立ち上げについて研究を行った。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|-----------|-----|--------------------------|-----|
| 2. 4. 9 | 飯田市 | 事務局会議 (三和ロボティックス) | 5 |
| 2. 5. 20 | 松本市 | 事務局会議 | 5 |
| 2. 6. 1 | 松本市 | 事務局会議 | 5 |
| 2. 6. 17 | 松本市 | 事務局会議 | 5 |
| 2. 7. 6 | 松本市 | 事務局会議 | 5 |
| 2. 7. 20 | 松本市 | 拡大事務局会議 | 10 |
| 2. 8. 20 | 松本市 | 事務局会議 | 5 |
| 2. 8. 25 | 松本市 | 中信高周波訪問 自動化支援事業説明 | 3 |
| 2. 9. 14 | 塩尻市 | サイクス訪問 RB 施設、研究内容説明会 | 8 |
| 2. 9. 16 | 松本市 | FA プロダクツ 事前説明会 | 10 |
| 2. 11. 10 | 松本市 | 長野県工科短期大学校 自動化支援活動事業説明 | 3 |
| 2. 11. 12 | 松本市 | 長野県南信工科短期大学校 自動化支援活動事業説明 | 5 |
| 2. 11. 18 | 松本市 | FA プロダクツ オンライン説明会 | 30 |
| 2. 11. 30 | 松本市 | 事務局会議 | 5 |
| 2. 12. 16 | 塩尻市 | サイクス訪問 | 8 |
| 2. 12. 21 | 松本市 | 事務局会議 | 5 |
| 2. 12. 16 | 飯田市 | 三明訪問 自動化支援事業説明 | 3 |
| 2. 12. 16 | 松本市 | シナノカメラ工業訪問 自動化支援事業説明 | 4 |
| 3. 1. 18 | 松本市 | 事務局会議 | 7 |
| 3. 1. 20 | 塩尻市 | サイクス訪問 自動化支援見学会広告確認 | 8 |
| 3. 2. 1 | 松本市 | 事務局会議 | 6 |
| 3. 2. 2 | 塩尻市 | サイクス訪問 安川電機技術交流会 | 9 |
| 3. 2. 9 | 松本市 | 事務局会議 | 5 |
| 3. 2. 22 | 松本市 | 事務局会議 | 8 |
| 3. 3. 29 | 松本市 | 事務局会議 | 7 |
| 3. 3. 29 | 塩尻市 | SIer 第1回見学・研修会(山清電気) | 9 |
| 3. 3. 30 | 塩尻市 | SIer 第2回見学・研修会 | 7 |

Ⅲ 共同研究等推進事業

1 提案公募型等研究開発プロジェクト導入支援事業

| 番号 | 応募事業名【機関】 | テーマ名 | 採否等 |
|----|---|--|-----|
| 1 | 令和2年度戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン） 【経済産業省関東経済産業局】 | エクステリア市場初となる熱処理と樹脂化処理のハイブリッド技術による高機能エクステリア木材の開発 | 不採択 |
| 2 | 令和2年度戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン） 【経済産業省関東経済産業局】 | ニッチ独自技術である精密板鍛造プレス技術と無線小型センサシステムを高度に融合させた情報フィードバックシステム機能を持つIoT減速機装置の開発 | 不採択 |
| 3 | 令和2年度戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン） 【経済産業省関東経済産業局】 | 超薄型シートヒーター用グリッド状発熱体の開発 | 不採択 |

2 提案公募型等研究開発プロジェクトフォローアップ事業

(1) 産業用燃料電池実用化支援

【高出力産業用燃料電池スタック実現の為に金型技術、金属プレス技術、実装技術及びめっき技術の高度化研究】

参加企業等：(株)IHIシバウラ、(株)サイベックコーポレーション、サン工業(株)

長野県工業技術総合センター、アルプスハイランド地域センター

国フォローアップ調査に対応。全体活動はせず、各社による個別の事業活動に移行している。

Ⅳ 人材育成事業

1 技術者のための実務教育パワーアップ講座事業

若手技術者の設計・開発実務能力のパワーアップを支援するため研修事業を行う。

実務に直結する具体的なテーマを定め、指導経験が豊富な講師による体験的な学習を通じて研究開発型技術者としての実践力を養うための講座をオンライン開催した。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|-----------|-----|---|-----|
| 2. 11. 18 | 松本市 | 「品質とコストを両立させる超低コスト化設計法 国井技術士設計事務所 所長 国井 良昌 氏 | 20 |
| 2. 11. 25 | 松本市 | 「攻めの設計戦略：競合機分析セミナー」 国井技術士設計事務所 所長 国井 良昌 氏 | 20 |

2 地域企業人材挑戦力育成事業

安曇野地域の産業団体と連携して、ものづくりの高度化を志向する挑戦力のある企業人材を育成することを目的として企業訪問による支援を実施した。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|-----------|------|---|-----|
| 2. 9. 9 | 安曇野市 | SDGs 個別企業指導、現場改善 (株)シーケイテック 講師 本木顧問、鬼頭氏 (安曇野工業会) | 4 |
| 2. 9. 24 | 安曇野市 | SDGs 個別企業指導、現場改善 (有)ホクト電子工業 講師 本木顧問、鬼頭氏 (安曇野工業会) | 4 |
| 2. 9. 29 | 安曇野市 | 今後の事業方向性、現場改善、社員教育への提案 (株)南安精工 講師 本木顧問、鬼頭氏 (安曇野工業会) | 6 |
| 2. 10. 22 | 安曇野市 | SDGs 個別企業指導、現場改善 (株)シーケイテック 講師 本木顧問、鬼頭氏 (安曇野工業会) | 4 |

| | | | |
|-----------|------|--|---|
| 2. 10. 28 | 安曇野市 | SDGs 個別企業指導、現場改善 (有)ホクト電子工業 講師 本木顧問、鬼頭氏 (安曇野工業会) | 4 |
| 2. 11. 20 | 安曇野市 | SDGs 個別企業指導、現場改善 (株)シーケイテック 講師 本木顧問、鬼頭氏 (安曇野工業会) | 4 |

3 「価値づくり力」パワーアップ講座事業

ユーザー視点に立ち、ユーザー課題の解決策を具現化するための試作・検証を通じて最終形に作り込むデザイン思考の考え方・手法を学ぶ。地域中小企業が自社の技術を活かした事業の拡大、付加価値の高い「もの」や「こと」づくりへと結び付けていくための人材育成を図った。

(講師：株式会社 U-NEXUS 代表取締役 上野 敏良 氏)

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|----------|-----|---|-----|
| 2. 7. 21 | 松本市 | 「価値づくり力パワーアップ体験講座 2020」 ～お客様の琴線に触れる価値づくりのキモを学ぶ～ デザイン思考体験 (ペアワーク、チームワーク) 1. デザイン思考の5ステップをクイック体験 2. テーマの設定、インタビュー項目の設計 | 12 |
| 2. 7. 28 | 松本市 | 「価値づくり力パワーアップ体験講座 2020」 ～お客様の琴線に触れる価値づくりのキモを学ぶ～ デザイン思考体験 (チーム編) 1. 情報の収集と整理、ユーザーへの「共感」 2. ニーズ及びインサイトの発見、「問題定義」 | 12 |
| 2. 8. 4 | 松本市 | 「価値づくり力パワーアップ体験講座 2020」 ～お客様の琴線に触れる価値づくりのキモを学ぶ～ デザイン思考体験 (ペアワーク、チームワーク) 1. アイデア創造プロセスの実践 2. アイデアの試作「プロトタイピング」～「ユーザーテスト」 | 12 |
| 2. 8. 11 | 松本市 | 「価値づくり力パワーアップ体験講座 2020」 ～お客様の琴線に触れる価値づくりのキモを学ぶ～ デザイン思考体験 (チーム編) 1. ユーザーテスト結果反映「プロトタイプ改善」 2. 「ストーリーテリング」、簡易ムービー作成～全体発表 | 12 |

4 夏休み親子ものづくり教室事業

ものづくりと科学技術に対する子供たちの関心を高めるために、長野県松本地域振興局・長野県工業技術総合センターと共同で、小中学校を対象に夏休み親子ものづくり教室を開催した。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|---------|------|--|------------------|
| 2. 7 月 | 安曇野市 | 夏休みおもしろ技術と子どものふれあい教室 (午前、午後) 会場：株式会社アズミ村田製作所 講師：株式会社アズミ村田製作所社員 今年度は、新型コロナウイルスの感染防止のため、村田製作所からの意向で中止 | 0 |
| 2. 8. 4 | 松本市 | 夏休み親子ものづくり教室、施設見学 ソーシャル・ディスタンス 手に触れずに測ってみる 会場：長野県工業技術総合センター環境・情報技術部門 講師：長野県工業技術総合センター職員 | 15 (子供 5名) |

V 広報等事業

1 メール配信サービス事業

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|---------------------|-----|---|-----|
| 2. 4月 ～ 3. 3月 | — | 経済産業省、関東経済産業局、長野県、中小企業総合事業団、通信・放送機構、科学技術振興事業団、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）などの技術開発公募等をEメールにより情報提供 | — |

2 ホームページの充実

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|---------------------|-----|--------------------------------|-----|
| 2. 4月 ～ 3. 3月 | — | 財団（地域センター）の概要、事業、会員募集、実施状況等を掲載 | — |

参加者計（延べ）1,069名

[諏訪テクノレイクサイド地域センター]

I 産学官交流事業

1 広域産学官交流ネットワーク事業

当地域産業界が力を入れている技術分野にポイントを絞り、関連する技術シーズを紹介する場を提供した。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|----------|----------------------|--|-----|
| 3. 2. 24 | 岡谷市 (会場及びオンライン開催) | ものづくり企業にとって活用の広がる技術に関して下記テーマに関して講演会を開催。 ①「物質表面の撥水性や親水性を物理的に制御する バイオミメティクス技術」 信州大学繊維学部機械ロボット科教授 山口 昌樹 氏 ②「ハードとソフトとノウハウを共通化する共通IoT プラットフォーム化の提言」 公立諏訪東京理科大学工学部情報応用工学科 教授 田邊 造 氏 ③「長野県工業技術総合センターにおける精密加工に関する研究の紹介」 長野県工業技術総合センター 精密・電子・航空部門加工部部長 山岸 光 氏 | 46 |

2 諏訪圏工業メッセ2020事業

諏訪圏工業メッセの主催構成団体の一員として開催に向け準備を行ってきたが、新型コロナウイルス感染拡大の懸念から諏訪圏工業メッセ及びDTF国際ワークショップは中止とした。

なお、諏訪圏工業メッセに関してはオンライン開催を実施した。

3 圏域内アドバイザー・コーディネータ連携事業

市町村・商工団体に所属するアドバイザーやコーディネータ及び関係機関の相互の連携を強化し、圏域内の産学官連携事業を支援するための連絡会議を開催した。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|-----------|-----|---|-----|
| 2. 7. 9 | 諏訪市 | 第1回連絡会議 ・経済産業省の各種施策紹介 ・日本貿易振興機構からの情報提供 ・令和2年度長野県の工業施策について ・令和2年度諏訪テクノレイクサイド地域センターの事業について ・令和2年度ものづくり推進機構事業計画及び工業メッセ2020について ・アドバイザー・コーディネータ情報交換 | 30 |
| 2. 11. 12 | 諏訪市 | 第2回連絡会議 ・関東経済産業局からの情報提供 ・諏訪圏工業メッセ2020(オンライン商談会)開催概要について ・アドバイザー・コーディネータ情報交換 | 25 |
| 3. 2. 15 | 諏訪市 | 第3回連絡会議 ・令和2年度の活動報告及びR3年度の事業について 各機関より ・アドバイザー・コーディネータ情報交換 | 30 |

II 新産業創出支援事業

1 コーディネート活動事業

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 件数 |
|-------------------|------|---|----|
| 2.4月 ～ 3.3月 | 諏訪市他 | 活動実績 <ul style="list-style-type: none"> ・企業調査 46件 ・大学・公設試験場等シーズ調査 1件 活動成果 <ul style="list-style-type: none"> ・研究会開催 125件 ・その他活動開催 23件 ・技術シーズ等の紹介 2件 ・共同研究成立 1件 ・製品化 2件 ・提案公募型助成制度等提案支援 2件 | — |

2 DTF研究開発事業

機関の見学や講演会を中心に研究会を開催した。分科会活動としてスマートファクトリー分科会ではIoT技術に関する研究開発に取り組んだ。また、医療分科会では高齢者や身障者向け器具の開発試作を行った。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|---------|----------------------------------|---|-----|
| 2.7.14 | 松本市 | 第124回研究会 <ul style="list-style-type: none"> ・長野県工業技術総合センター 環境・情報技術部門紹介、見学 [部門紹介、取り組み内容紹介] *環境・情報技術部門の概要説明 *地域資源製品開発支援センターの事業紹介 *AI学習用並列処理コンピューターとAI支援事例の紹介 [施設見学] *AI活用/IoTデバイス事業化・開発センター | 17 |
| 2.9.17 | 飯田市 | 第125回研究会 <ul style="list-style-type: none"> ・長野県工業技術総合センター 航空機産業支援サテライト 紹介、見学 [航空機産業支援サテライト紹介] *航空機産業支援サテライト及び支援事例紹介 [施設見学] *飯田産業センター飯田工業技術試験研究所 *信州大学航空宇宙システム研究拠点 | 12 |
| 2.11.25 | 岡谷市 | 第126回研究会 <ul style="list-style-type: none"> ・研究会（一部） *DTF産業デザイン財団賞表彰 ・講演会（二部） *「デジタルレイバーで地方を元気にしたい」 メディカルRPA協会理事兼スカイライトコンサルティング(株) 事業開発特別顧問 村上 典久 氏 | 17 |
| 3.1.21 | 岡谷市 (会場及 びオンラ イン開 催) | 第127回研究会（会場＋オンライン配信） <ul style="list-style-type: none"> ・研究会（一部） *関東経済産業局より情報提供 「令和2年度3次補正予算及び令和3年度当初予算の施策について」 ・講演（二部） *「DTF研究会に参加して、そしてその未来について」 高島産業(株) 取締役開発部長 遠藤 千昭 氏 *「インクジェット技術の産業応用への取り組み」 セイコーエプソン(株) 藤井 竜也 氏 | 31 |

| | | | |
|----------|----------------------|--|--------------|
| 3. 3. 18 | 岡谷市 (会場及びオンライン開催) | 第128回研究会(会場+オンライン配信) ・研究会(一部) 第128回研究会(会場+オンライン配信) ・研究会(一部) *医療分科会試作品実演紹介 とろみ剤攪拌器、ペットボトルオープナー *情報提供「意匠法の改正について」 綿貫国際特許・商法事務所 所長 岡村 隆志 氏 ・講演(二部) *「丹羽久信の中京電機放浪記」 丹羽技研(元CKD(株)) 丹羽 久信 氏 *「未来をともに創る(VORTENRYUに込めた思い)」 (株)平出精密 代表取締役 平出 正彦 氏 | 25 |
| 通年 | 岡谷市 他 | 幹事会 ・10回開催 | 延 84 |
| 通年 | 岡谷市 | 分科会活動 ・スマートファクトリー分科会開催 5回 ・医療分科会開催 9回 | 延 47 延 50 |

3 材料研究開発事業

材料の特徴を活かし、企業競争力を向上させるため、研究材料を超微細粒鋼とコバルトクロム合金に絞り、実用化研究を推進した。また、講演会による材料技術のレベルアップを図った。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|-----------|-------|---|-----|
| 2. 11. 9 | オンライン | 第1回研究会 「合金の結晶コントロール技術の基礎とその応用」 兵庫県立大学 機械・材料工学科 材料工学コース 材料・放射光工学専攻 教授 鳥塚 史郎 氏 | 23 |
| 2. 12. 21 | オンライン | 第2回研究会 「最新の生体材料の動向について」 (株)バイオマテリアル研究所 代表取締役 伊藤 充雄 氏 | 19 |
| 3. 2. 17 | オンライン | 第3回研究会 「金属及び超硬材料の疲労破壊と信頼性設計」 富山大学学術研究部工学系 教授 小熊 規泰 氏 | 18 |
| 3. 2. 25 | オンライン | 第4回研究会 「ハイエントロピー合金の基礎とその生体材料としての合金開発」 大阪大学大学院工学研究科マテリアル生産科学専攻 教授 中野 貴由 氏 | 16 |

4 環境・エネルギー技術研究開発事業

再生可能エネルギーの効率的な利用技術に関する情報収集と個別研究推進。

SEE(Smart Environment and Energy)研究会の水処理プロジェクトで開発した耐塩素性細菌除去用浄水装置を茅野市及び公立諏訪東京理科大学の協力のもと、茅野市高部配水池で実用試験を開始。又、小水力 PRJ では豊田終末処理場の諏訪湖放流前水路での発電実験を終了(年間発電量は2,488KWと推定)。

<個別プロジェクト：熱利用、小水力発電、バイオマス、ソーラー、水処理、風力>

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|----------|-----|--|-----|
| 2. 7. 29 | 岡谷市 | 第1回全体研究会 (1)今年度の研究会の進め方 諏訪圏ものづくり推進機構 理事 五味 知佳士 氏 (2)行政における環境施策推進状況の報告 岡谷市「身近なことから考える地球温暖化対策」 ～ 地球温暖化川柳・緑のカーテンコンテスト ～ 環境課 主幹 小口 氏 | 25 |

| | | | |
|-----------|-----|---|-------|
| | | 諏訪市「諏訪市環境施策推進状況」 ～ 差異エネ関連施策について ～ 生活環境課 主査 大槻 氏 茅野市「森林資源の持続可能な地域循環モデル」 ～ バイオマスッポイラー導入事例 ～ 商工課 北原 氏 (3) SEE 個別研究会 今年度の企画・テーマなどの説明 | |
| 2. 12. 11 | 岡谷市 | 第4回全体研究会（※ 第2及び3回は中止） (1) 研究会の活動状況 諏訪圏ものづくり推進機構 理事 五味 知佳士 氏 (2) 講演「直接メタノール形燃料電池電源システムについて」 ～ 装置実演含む ～ 三菱ガス化学(株) 芝田 大 氏 菱陽商事(株) 赤松 亮 氏 (3) SEE 個別研究会状況説明 6テーマ（各テーマリーダー） | 28 |
| 2. 2. 19 | 諏訪市 | 第5回全体研究会（NPO 諏訪圏ものづくり推進機構主体） 「すべてのビジネスに求められる環境対応とものづくりの商機」 東京大学客員教授 小林 光氏 「カーボンニュートラルと脱炭素イノベーション」 環境省脱炭素イノベーション研究調査室 室長 中島 恵理 氏 ものづくり推進機構・SEE 研究会が進めてきた現状報告 諏訪圏ものづくり推進機構 理事 五味 知佳士 氏 | 70 |
| 通年 | | 分科会活動（個別研究テーマ等） ・個別研究会（熱利用、小水力、水利用、バイオマス、風力、太陽光） 53回 | 延 438 |

III 共同研究等推進事業

1 提案公募型共同研究開発プロジェクト導入支援事業

1件のテーマについて公募申請を行ったが、不採択となった。
令和3年度サポイン公募に向け、2社の支援を開始。

2 提案公募型研究開発プロジェクト運営事業

前年からの継続テーマについて、事業管理機関として事業の管理、推進を行った。

| 制度名 | テーマ名 [研究機関] | 所管省庁等 |
|----------------|---|------------------|
| 戦略的基盤技術高度化支援事業 | ・産業設備、インフラ、車輛等の無線によるIoT化を実現する小型ハーベスティングセンサーとデータ処理システムの開発 [日本ミクロン(株)、県工技センター、信州大学] | 経済産業省 関東経済産業局 |

3 提案公募型研究開発プロジェクトフォローアップ事業

終了テーマについてその後の実施状況のフォローを行った。

| 制度名 | テーマ名 [研究機関] | 所管省庁等 |
|----------------|--|------------------|
| 戦略的基盤技術高度化支援事業 | ・青色LEDを用いた高効率シキミ酸新規製法の開発と実用化技術の開発 [三栄製薬(株)、信州大学] | 経済産業省 関東経済産業局 |

IV 人材育成事業

1 幾何公差実践研究会

幾何公差の考え方と使い方を学び、実践能力を向上させることで、高品質で低コストなものづくりに寄与できる人材の育成を行った。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|--|-----|--|-------|
| 2. 9. 10 ～ 2. 12. 15 (全 12 回) | 岡谷市 | 講師 CDT研究所 中村 哲夫 氏 第 1 回研究会～第 8 回 (座学) 幾何公差の基本 ・幾何公差は何故必要か ・幾何公差の種類と幾何特性 ・幾何公差図示の基本 第 9 回研究会～第 12 回 (各社から提供の図面による実習) ・幾何公差方式の実践事例研究 (図面指示に起因する諸問題の検討) | 延 158 |

2 品質工学研究会

短期間で技術開発を行い商品設計に繋げる人材を育成するための研修会を開催した。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|-----------|-------|--|-----|
| 2. 7. 30 | 塩尻市 | 品質工学導入講習会 ・品質工学の基本的考え方 ・MTシステム、等の紹介 講師 (有)増田技術事務所 代表取締役 増田 雪也 氏 講師 東京エレクトロンTS(株) 中山 博之 氏 講師 信州大学大学院 特任教授 岩下 幸廣 氏 | 17 |
| 2. 11. 20 | 塩尻市 | ものづくりにおけるデータ分析入門セミナー ～タグチメソッドMTシステムの活用～ ・新しいデータ処理方法 (MTシステム) の概要 ・MT法の計算、事例、計算演習 ・T法の計算、事例、演習 ・定性データの数量化 講師 信州大学大学院 特任教授 岩下 幸廣 氏 | 10 |
| 3. 2. 10 | オンライン | 品質工学実践交流大会 ・事例発表 3 件 発表者 (株)サンコー 中増 光宏 氏 発表者 日置電機(株) 兒玉 光 氏 発表者 日本電産サンキョー(株) 中西 徹 氏 ・基調講演 講演者 TM 実践塾 芝野 広志 氏 | 38 |

3 環境対応技術研究会

企業活動における環境負荷低減を行える人材の育成を行うと共に個別企業の成果事例共有を行った。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|----------------------------------|-------|--|----------------|
| 2. 9. 17 2. 9. 24 2. 10. 8 | オンライン | 省エネ 第 1 回：断熱基礎理論、省エネ効果予測計算 第 2 回：空調基礎理論、コンプレッサ基礎理論 第 3 回：生産機械基礎理論、照明基礎理論 指導 省エネコンサルタント 竹村 雅志 氏 | 16 13 14 |
| 2. 10. 15 | 松本市 | 生産現場のエネルギーの見える化実習 ・コンプレッサ圧力設定変更 ・エア漏れ量測定 ・コーナー配管による圧損 ・真空エジェクタと真空ポンプ比較 ・増圧弁使用のメリット・デメリット 指導 省エネコンサルタント 竹村 雅志 氏 | 11 |

| | | | |
|-----------|-------|--|-----|
| 2. 10. 22 | オンライン | 第4回：MFC A基礎 ・MFC A集計、分析演習 講師 MFCA研究所代表 安城 泰雄 氏 | 13 |
| 2. 11. 5 | オンライン | 第5回：環境効率評価 ・環境効率の概要、製品への環境効率の適用 ・環境負荷評価～LCAの初歩～ 講師 信州大学大学院 特任教授 岩下 幸廣 氏 講師 東京都市大学環境学部 教授 伊坪 徳宏 氏 | 14 |
| 3. 3. 3 | オンライン | 工場エネルギー使用合理化成果発表会 ・事例発表3件 発表者 デイリーフーズ(株) 発表者 (株)長野トマト 発表者 日穀製粉(株) ・特別講演 講演者 ロボコム・アンド・エフエイコム(株) 金谷 智昭 氏 | 102 |

4 新商品開発・製品サービス研究会

商品開発アプローチや手法について基礎知識習得のためのセミナーを開催するとともに、企業での実践研究を実施し、効率よく商品開発を推進できる技術者を育成した。

(講師、指導：ラーチマネージメントリサーチ 代表 村岡 正一 氏)

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|----------|-------|---|-----|
| 3. 1. 19 | オンライン | 第1回：ニーズを踏まえた新商品開発 ・新商品開発のポイント ・マーケティング ・顧客ニーズの整理 | 13 |
| 3. 1. 26 | オンライン | 第2回：製品サービス設計の進め方 ・生産性向上ガイドライン ・サービス化の要件 ・顧客のセグメンテーション化 | 12 |
| 3. 2. 2 | オンライン | 第3回：新商品開発ワークショップ ・ワークショップ I：言語データの整理と展開 | 12 |
| 3. 2. 16 | オンライン | 第4回：製品サービス設計 ・メンテナンス最適化の考え方と進め方 | 13 |

V 広報等事業

1 情報交流、提供事業

テクノ財団が実施する事業や国等の施策に関する情報をホームページやメール配信にて提供を行った。

参加者計 (延べ) 1, 507名

[伊那テクノバレー地域センター]

I 産学官交流事業

1 伊那谷アグリイノベーション推進機構連携事業

信州大学農学部から提供される技術シーズを活用した新産業創出や地域産業の活性化に向けた活動を、伊那谷地域の産学官で構成する「伊那谷アグリイノベーション推進機構」と連携して行った。新型コロナウイルス感染症の影響により、総会は5月に書面評決にて実施した。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|-----------|-------|--|-----|
| 2. 11. 19 | オンライン | 第17回シンポジウム「食と健康」(共催) 講演:「旬の農産物について」 信州大学 農学部 准教授 稲熊 隆博 氏 | 73 |
| 2. 11. 25 | 伊那市 | 第4回 薬草・薬木勉強会 | 26 |
| 2. 12. 3 | 飯田市 | 第4回 健康・長寿勉強会 | 36 |
| 2. 12. 23 | オンライン | 令和2年度助成成果発表会・各種勉強会発表会 | 23 |
| 3. 1. 18 | オンライン | 第4回 菌類勉強会 | 27 |

2 次世代経営者による異業種交流会

次世代を担うものづくりの経営者が、自社の課題解決や提携したい案件の情報収集等を行う情報交換会を、オンラインを活用するなどコロナ禍において可能な方法で開催した。また、講演会を通して、企業経営に有益な情報やノウハウを学ぶ機会を作るとともに、参加者の交流を通じて新ビジネス分野や新技術分野で連携できるテーマを見つけ、連携プロジェクトを企画・実施することに資するネットワーク形成に役立てた。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|----------|--------------------|---|-----|
| 2. 7. 14 | 伊那市 | 受注促進部会 営業担当者情報交換会・交流会 | 14 |
| 2. 7. 20 | オンライン | 定例会(第1回) 情報交換会 | 22 |
| 2. 12. 7 | 伊那市 (会場及びオンライン) | 定例会(第2回) 講演会・情報交換会 「新型コロナウイルスと経済・経営を考える」 (一財)長野経済研究所理事・調査部長 小澤 吉則 氏 | 27 |
| 3. 2. 25 | 伊那市 (会場及びオンライン) | 定例会(第3回) 講演会・情報交換会 「諏訪東京理科大産学連携活動のご紹介」 公立諏訪東京理科大学 産学連携センター コーディネーター 大草 隆 氏 「産業雇用安定センターご紹介」 公益財団法人産業雇用安定センター 長野事務所所長 榎野 靖昌 氏 | 29 |
| 3. 3. 23 | 伊那市 | 役員会 | 12 |

II 新産業創出支援事業

1 コーディネート活動事業

新型コロナウイルス感染症の影響で、産学官の交流イベントや大学・研究機関等のセミナーや研究事例発表が中止となり、また企業訪問も難しい状況であったが、オンラインやメールを活用するなどして技術シーズ・企業ニーズの収集を行なった。また業界の技術動向等の把握については、移動の制限により展示会などへの参加ができない中、オンラインによるセミナーや展示会を活用して情報収集に努め、地域企業の課題解決のための企画立案や情報提供に役立てた。また、

企業などの研究開発に対して、提案公募型助成制度の活用等を支援し、新技術・新商品開発、販路開拓等を促進した。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|-------------------|----------|--|-----|
| 2.4月 ～ 3.3月 | 伊那市 他 | 活動実績 企業訪問 134件 大学、公設試験場等訪問 39件 研究会開催 49件 提案公募等支援件数 7件 活動成果 事業化・製品化 1件 ・ものづくり補助金申請支援、採択 0件 ・戦略的基盤技術高度化支援事業申請、採択 5件 事業管理機関として事業支援・管理を実施 | — |

2 信州機能性食品開発研究会

信州大学農学部と連携し、食品関連企業の効果的な新技術・新商品開発の促進を支援することや、研究会を通して大学や企業の機能性食品に係る研究動向や新たな技術シーズ、最新の機能性食品の開発事例等を紹介し、県内関連企業の機能性食品開発の活性化を目指していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により研究会開催は断念し、総会のみ6月に書面評決により実施した。長野県食品製造業振興ビジョン推進協議会と共催で、「食」と「健康」ラボ研究会セミナーを8月にオンラインで開催した。また、信州大学農学部が実施する社会人向けの食品開発・製造の技術者育成講座「信州フードスペシャリスト育成プログラム」の検討・運営に携わった。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|---------|-------|--|-----|
| 2. 7.29 | オンライン | 「信州フードスペシャリスト育成プログラム」検討委員会 全6回 | (6) |
| 2. 8.26 | 伊那市 | 食と健康ラボ研究会 第5回シンポジウム (共催) ①「宇宙日本食開発・認証の現状、今後の展開について」 国立研究開発法人宇宙航空研究開発推進機構 (JAXA) 有人宇宙技術部門 宇宙飛行士・運輸管理ユニット 宇宙飛行士管理グループ研究開発員 野上 和真 氏 ②「宇宙空間での食と健康を考える～宇宙医学研究者の立場から～」 東京慈恵医科大学 細胞生理学講座 宇宙航空医学研究室 講師 暮地 本宙己 氏 ③「無重力や寝たきりによる筋萎縮のメカニズムとその栄養学的アプローチ」 徳島大学医歯薬学研究部宇宙栄養研究センター センター長 二川 健 氏 | 80 |

3 伊那バレー・オープンイノベーション事業

新技術や新工法の習得により、新しい地域産業の創出を図ることを目的とした研究開発テーマの発掘と支援を行った。また、地域企業が持つ固有技術やノウハウの連携を促進させることで、新たな伊那バレー産業の創出と既存産業の活性化を目指すとともに、地域の病院と企業との医工連携を促進し、ものづくりによる医療現場での課題解決に取り組んだ。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|---------|-----|---------------|-----|
| 2. 7.15 | 伊那市 | 第23回 研究会 | 12 |
| 2.10.14 | 伊那市 | 第24回 研究会 | 10 |
| 2.12. 9 | 伊那市 | 伊那中央病院との打ち合わせ | 7 |
| 2.12.17 | 伊那市 | 第3回 医工連携検討会 | 5 |
| 3. 2. 9 | 伊那市 | 第25回 研究会 | 13 |

4 スマート看護・福祉研究会

地域の病院や看護大学、福祉機器を開発している企業等と連携して、新たなリハビリテーション用の器具等の開発・試作を行い、迅速・安価に供給するシステムを確立し、ADL（日常生活動作）支援のための器具等の供給ビジネスを地域産業として創出する活動を行った。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|-----------|----------------------------|--|-----|
| 2. 7. 28 | オンライン | 第 43 回 研究会 看護（介護）用椅子 1 次試作品の評価 | 8 |
| 2. 8. 25 | オンライン | 第 44 回 研究会 看護（介護）用椅子 2 次試作に関する検討 | 9 |
| 2. 10. 13 | オンライン | 第 45 回 研究会 看護（介護）用椅子 2 次試作に関する検討 | 12 |
| 2. 11. 25 | 駒ヶ根市 | 第 46 回 研究会 看護（介護）用椅子 2 次試作に関する検討 | 9 |
| 3. 1. 20 | 駒ヶ根市 | 第 47 回 研究会 看護（介護）用椅子 2 次試作に関する検討 | 10 |
| 3. 2. 18 | 伊那市 (会場及 ぶオンラ イン) | ADL支援・介護製品開発・普及支援セミナー（共催） ①「福祉用具の動向と開発・普及にあたってのポイント、留意点 について」 （公財）テクノエイド協会企画部長 五島 清国 氏 ②「福祉用具市場参入への仕組み、販売について」 （株）日本ケアサプライ 首都圏第二ブロック副ブロック長 佐藤 真寿 氏 | 20 |
| 3. 2. 18 | 伊那市 | 第 48 回 研究会 看護（介護）用椅子 2 次試作完成品の確認 | 10 |

Ⅲ 共同研究等推進事業

1 提案公募型等研究開発プロジェクト導入支援事業

サポインの公募申請 2 件を実施し、それぞれ採択された。

| 制度名 | テーマ名 | 所管省庁等 |
|--------------------|--|------------------|
| 戦略的基盤技術 高度化支援事業 | アモルファス金属ガラス溶射を用いた磁歪式トルクセンサの開 発 | 経済産業省 関東経済産業局 |
| 〃 | 超精密膜厚制御による放射光施設用フリーフォーム型 X 線ミラ ーの開発 | 〃 |

2 提案公募型等研究開発プロジェクト運営事業

採択された研究開発プロジェクトに対し、研究活動の推進、進捗管理を行った。

| 制度名 | テーマ名 [研究機関] | 所管省庁等 |
|--------------------|---|------------------|
| 戦略的基盤技術 高度化支援事業 | 民間航空機に搭載可能な非接触ハイブリッドブレーキシステムの研究開発 [多摩川精機㈱、信州大学] | 経済産業省 関東経済産業局 |
| 〃 | ナノコンポジット摩擦材による超小型軽量電磁ブレーキの開 発 [㈱協和精工、興和ゴム工業㈱、信州大学] | 〃 |
| 〃 | 軸姿勢検出機能を有する中空大型の 3D 高機能ロータリエンコ ーダの開発 [エ・モーションシステム㈱、多摩川精機㈱、 産業技術総合研究所] | 〃 |

3 提案公募型等研究開発プロジェクトフォローアップ事業

終了したサポイン事業について、補完研究や事業化に向けた取り組み等に対し支援した。

- (1) 電気自動車向け IGBT 用高性能ヒートシンク成形用金型の開発
- (2) 温間順送複合プレスによる難加工材の高効率生産技術開発
- (3) 高効率・高精度回転体 X 線ミラーの製造技術の開発
- (4) 回転軸の軸ガタ検出機能を付加した自己校正型ロータリエンコーダの開発
- (5) 航空機用先進熱制御システム用ヒートシンクの製造技術開発

Ⅳ 人材育成事業

1 地域産業活性化支援事業

地域協議会等を通じて把握した支援ニーズや、地域の産学官が抱える課題に対応するため、財団が持っているネットワークやノウハウを活用して、地域の産業振興や地域の将来を担う人材の育成等に取り組んだ。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|-----------|-------|---------------------------------|-------|
| 2. 6. 25 | 伊那市 | 伊那市商工業振興審議会 工業部会および企業訪問 全 9 回 | (延 9) |
| 2. 7. 31 | 伊那市 | 伊那市新産業技術推進協議会 スマート工業部会 全 4 回 | (延 4) |
| 2. 9. 3 | 伊那市他 | 郷土愛プロジェクト全体会議および委員会 全 4 回 | (延 4) |
| 2. 10. 19 | オンライン | キャリア教育産学官交流会 | (231) |
| 2. 10. 21 | 伊那市 | INA Valley 産業支援ネットワーク会議 全 3 回 | (延 3) |
| 2. 11. 19 | 伊那市 | 三風の会 全体会議 | (1) |
| 2. 11. 24 | 伊那市 | 伊那市「IoT 導入人材育成講座」開催 全 5 回 (協力) | 延 78 |
| 2. 11. 27 | 伊那市 | 上伊那ワンストップハブ会議 全 5 回 | (延 5) |
| 3. 1. 19 | 伊那市 | アイデアソン in 伊那「IT×ものづくり企業」開催 (協力) | 延 20 |

2 伊那テク・ハイテクセミナー

地域産業の高度化と新産業の創出に関して、グローバルな競争力強化に寄与できる人材育成を図るため、地域企業向け AI 画像処理セミナーを開催した。また、ここ 10 年間で大幅な進歩を遂げてきた工作機械技術を今後の中小企業の経営に活かしてもらうため、工作機械技術動向セミナーを実施した。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|----------|----------------------------|---|-----|
| 2. 12. 9 | 伊那市 | AI 画像処理セミナー ～外観検査工程における AI 画像検査装置導入事例紹介～ ①「外観検査工程における生産効率向上活動 ～外観検査装置導入～」 サン工業(株)製造三課課長 向山洋志氏 ②「AI を活用した画像処理システムについて」 (株)アルゴル代表取締役社長 今井 博充 氏 (株)アルゴル開発営業部 技術主任 三原 喜一 氏 | 31 |
| 3. 3. 2 | 伊那市 (会場及 びオンラ イン) | 工作機械技術動向セミナー 「工作機械の基礎知識と最近の技術動向」 小林技術士事務所所長 小林 武夫 氏 | 27 |

3 ロボット導入支援事業

地域の製造業におけるロボット導入・自動化への支援活動として、IE 手法を使った課題分析や現場改善ができる人材を育成するため、地域企業向けロボット導入支援セミナーを開催した。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|----------------------|-----|---|------|
| 3. 1. 14 3. 1. 21 | 伊那市 | ロボット導入支援セミナー ～IE 手法を使った課題分析・現場改善講座～ E&E ソリューション代表 相吉 一浩 氏 | 延 10 |

4 リサイクルシステム研究会

例年実施している「天竜川水系環境ピクニック（河川敷清掃）」は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。定例会については、第 1 回を書面評決にて実施し、第 2 回以降は会場とオンラインを併用する形で開催した。昨年度より取り組みを開始した自然エネルギーの利用促進と伊那谷地域におけるエネルギー地産地消モデル構築の活動として、県・市町村などの行政機関や関係団体・個人などとの情報交換を通してネットワークづくりを進めた。また、省エネと再エネをテーマに 2 回のセミナーを開催したほか、再生可能エネルギー利用の先進的な取組を行っている地域の視察をおこなった。

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|---------|-----|-----------------|-----|
| 2. 6. 1 | 伊那市 | 伊那市生活環境課との情報交換会 | 5 |

| | | | |
|----------------|--------------------|---|----|
| 2. 6. 7 | 天竜川水系 | 第17回 身近な水環境の全国一斉調査参加 10か所 | 5 |
| 2. 7. 3 | 長野市 | 長野県環境部ゼロカーボン推進室との情報交換会 | 5 |
| 2. 8. 5 | 伊那市 | 第2回 定例会 | 10 |
| 2. 8. 31 | 伊那市 | 伊那市新産業技術推進協議会サステイナブル環境部会 | 3 |
| 2.10.22 ～24 | 山形県 | 再生可能エネルギー利用先進地視察 ー山形県ー 最上町「バイオマス森のある暮らし」 木質バイオマスボイラーによる地域マイクログリッド 庄内町「風を活かしたまちづくり」 風力発電と省エネの取り組み | 6 |
| 2.11.13 | 伊那市 | エネルギー有効利用セミナー ～持続可能な地域を目指して～ 「省エネルギーの進め方と無料診断事例」 (一財) 省エネルギーセンター 鈴木 伸隆 氏 「やさしいエネルギー有効利用事例の紹介」 上伊那電気主任技術者協会 会長 下島 岩男 氏 | 41 |
| 3. 1. 22 | 飯島町 | 小水力発電施設見学・飯島町住民税務課との情報交換会 | 6 |
| 2. 2. 15 | 伊那市 (会場及びオンライン) | 伊那谷自然エネルギー地産地消セミナー ～持続可能な地域を目指して～ 「エネルギー自立地域の確立に向けて」 信州大学人文学部准教授 茅野恒秀氏 「2050 ゼロカーボン社会の実現に向けて」 長野県環境部ゼロカーボン推進室 室長 柳原 健氏 「バイオガス活用事例：自立分散型の循環のまちづくり」 アマタ株式会社 社会デザイングループ 宍倉 恵氏 | 83 |
| 2. 2. 15 | 伊那市 | 第3回 定例会 | 14 |

5 子ども科学工作教室

地域の子どもたちに「科学技術」や「モノづくり」への関心を高めてもらう目的で、「子ども科学工作教室」を実施した。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、例年実施している駒ヶ根工業高校生・実行委員による子どもたちへの直接指導を中止し、配布した工作キットを自宅で工作してもらい、工作後に感想を送ってもらう形態へ変更した。

(1) 上伊那地区

| 開催期日 | 場 所 | 内 容 | 参加者 |
|-----------|-------------|--|-----|
| 2. 7. 10 | 駒ヶ根市 | 駒ヶ根工業高校協力依頼と打ち合わせ | 5 |
| 2. 10. 23 | 伊那市 | 第1回実行委員会 令和2年度推進体制と推進計画 | 11 |
| 2. 10. 29 | 上伊那郡 | 上伊那郡内各市町村教育委員会訪問依頼 | 2 |
| 2. 12. 2 | 伊那市 | 第2回実行委員会 詳細スケジュールと実行委員配置確認、試組 | 10 |
| 2. 12. 26 | 伊那市 駒ヶ根市 | 第20回 上伊那子ども科学工作教室 「冬休みに自宅で“プログラミングロボ”を作ってみよう！」(各市役所にて配布) 参加いただいた小学生から夢と希望にあふれた感想文を多数寄せていただいた。 | 95 |

(2) 下伊那地区

新型コロナウイルス感染症対策のため、開催を中止した。

V 広報等事業

情報発信サービスの充実

利用者の利便性を図るために、テクノ財団が実施する事業や、国、県の研究開発支援制度などの情報をホームページやメール配信にて提供した。

参加者計 (延べ) 961名